

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJ カレンダー	2
研究発表会開催通知	5
第 7 回分散システム運用技術研究会	5
第 87 回グラフィクスと CAD 研究会	5
第 68 回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	6
第 22 回音楽情報科学研究会	6
第 18 回音声言語情報処理研究会	6
第 118 回計算機アーキテクチャ研究会	7
第 85 回設計自動化研究会	8
コンピュータサイエンス領域の CD-ROM 刊行について (お知らせ)	11
情報処理学会第 56 回全国大会 (会場: 中央大学理工学部) 講演・デモセッションの募集について	12
情報処理学会第 56 回全国大会一般講演申込書	17
情報処理学会第 56 回全国大会デモセッション申込書	18
情報処理学会第 56 回全国大会講演ならびにデモセッション参加費送金連絡票	19
全国大会講演論文集継続購入のご案内	20
情報処理学会「行事」申込書	21
「連続セミナー 97」参加者募集	22
「コンピュータシステム・シンポジウム」参加者募集	23
「ウインターワークショップ・イン・恵那 (仮称)」論文・参加募集	23
「デジタル・ドキュメント・シンポジウム'98」論文募集	24
「分散システム運用技術シンポジウム '98」論文募集	25
「インタラクション'98」論文募集	26
「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98)」論文募集	27
WWCA'98 (第 2 回ワールドワイドコンピューティング国際会議) 論文募集	28
CALL FOR PAPERS APCHI'98	29
第 16 回 IPA 技術発表会	30
情報処理学会論文誌「並列処理」特集への論文投稿のご案内	32
当学会の出版物の著作権の取扱いについて	33
有料会告について	34
会費・購読費の預金口座 (銀行・金庫) 自動振替のご利用について	35
預金口座振替依頼書	36
学会誌表紙デザイン募集	40
サイエンス・ボランティア募集について	46
「コンパクト版 情報処理ハンドブック」発行	46
支部だより	37
雑 報	28
人 材 募 集	41
会 議 案 内	32

IPSJ カレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
第24回グループウェア研究会	情報処理学会	9月18日(金)	当日のみ	38-8 9p	研
第58回アルゴリズム研究会	岩手大	9月19日(金)	当日のみ	38-8 9p	研
連続セミナー97 イントラネットの最新動向とそれを支える技術	工学院大	9月19日(金)	定員になり次第	38-9 22p	事
第9回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	9月19日(金)	当日のみ	38-8 10p	研
第45回コンピュータと教育研究会	関西学院大	9月19日(金)	当日のみ	38-8 10p	研
情報処理学会第55回全国大会	福岡工大	9月24日(水) ～26日(金)	当日可	38-8 付録	事
情報処理学会第55回全国大会併設国際シンポジウム	福岡工大	9月24日(水) ～26日(金)	当日可	38-8 付録	事
第15回数理モデル化と問題解決研究会	九州システム情報技研	9月26日(金)	当日のみ	38-8 10p	研
第65回情報システム研究会	九州産業大	9月26日(金)	当日のみ	38-8 11p	研
第7回分散システム運用技術研究会	NTT 武蔵野	10月17日(金)	当日のみ	38-9 5p	研
第87回グラフィクスとCAD研究会	山梨大	10月17日(金)	当日のみ	38-9 5p	研
第68回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	石川ハイテク交流センター	10月17日(金)	当日のみ	38-9 6p	研
第22回音楽情報科学研究会	早大	10月18日(土)	当日のみ	38-9 6p	研
第18回音声言語情報処理研究会	KDD 研究所	10月24日(金)	当日のみ	38-9 6p	研
第118回計算機アーキテクチャ研究会	宮崎シーガイア	10月28日(火) ～29日(水)	当日のみ	38-9 7p	研
第85回設計自動化研究会	宮崎シーガイア	10月28日(火) ～29日(水)	当日のみ	38-9 8p	研
コンピュータシステム・シンポジウム	NTT ゆかり荘	11月6日(水) ～7日(木)	10月24日(金)	38-9 23p	研
連続セミナー97 ネットワークとセキュリティ	工学院大	12月5日(金)	定員になり次第	38-9 22p	事
連続セミナー97 デジタル図書館	工学院大	平成10年 1月19日(月)	定員になり次第	38-9 22p	事
連続セミナー97 データウェアハウス	工学院大	3月24日(火)	定員になり次第	38-9 22p	事

【国際会議】

行事名	会場名	開催日	照会先	掲載ページ	担当
ISAAC '97	シンガポール	平成9年 12月17日(日) ～19日(土)	事務局	38-4 37p	国
The 12th International Conference on Information Networking (ICOIN-12)	Communications Research Laboratory	平成10年 1月21日(水) ～23日(金)	事務局	—	国
Asia and South Pacific Design Automation Conference 1998 (ASP-DAC '98)	横浜パシフィコ	2月10日(火) ～13日(金)	事務局	—	国
第2回ワールドワイドコンピューティング(WWCA '98)	つくば市	3月2日(月) ～5日(木)	事務局	38-9 28p	国
International Conference on Software Engineering (ICSE 98)	京都国際会館	4月19日(日) ～25日(土)	事務局	38-4 38p	国

【論文募集】

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
北海道支部 平成9年度電気関係学会北海道支部連合大会	北見工大	平成9年 10月18日(土) ～19日(日)	8月22日(金)	38-7 27p	北
四国支部 平成9年度電気関係学会四国支部連合大会	四国電力	10月20日(月)	8月18日(月)	38-7 29p	四
北陸支部 平成9年度電気関係学会北陸支部連合大会	金沢工大	11月2日(日) ～3日(月)	8月30日(土)	38-8 26p	陸
人工生命とその応用シンポジウム	東京農工大	12月15日(月) ～16日(火)	8月30日(土)	38-7 24p	研
アドバンスト・データベース・シンポジウム'97	工学院大	12月15日(月) ～17日(水)	9月30日(火)	38-8 25p	研
第39回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小湧園	平成10年 1月7日(水) ～9日(金)	8月29日(金)	38-7 26p	事
1998年情報学シンポジウム	日本学術会議講堂	1月13日(火) ～14日(水)	9月5日(金)	38-6 29p	研
利用者指向の情報システムシンポジウム	東洋大	1月23日(金)	9月5日(金)	38-8 20p	研
デジタル・ドキュメント・シンポジウム'98	工学院大	1月30日(金)	10月15日(水)	38-9 24p	研
分散システム運用技術シンポジウム'98	東工大	2月5日(木) ～6日(金)	10月20日(月)	38-9 25p	研

行事名	会場名	開催日	論文(応募)締切	掲載ページ	担当
インタラクシオン'98	東大	3月3日(火) ～4日(水)	平成10年 1月9日(金)	38-9 26p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大	3月17日(火) ～19日(木)	12月5日(金)	38-9 12p	事
The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG '98)	Big Roof (奈良)	4月14日(火) ～16日(木)	10月8日(水)	38-8 21p	研
Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98)	Shonan Village Center	7月15日(水) ～17日(金)	平成10年 1月31日(土)	38-9 29p	国
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98)	岐阜市未来会館	7月29日(水) ～31日(金)	平成10年 1月17日(土)	38-9 27p	研
論文誌特集号 「並列処理」			平成9年 10月31日(金)	38-9 32p	編

【支 部】

行事名	会場名	開催日	参加締切	掲載ページ	担当
東海支部 講演会	豊橋技科大	9月19日(金)	.	38-8 25p	海
東海支部 平成9年度電気関係学会東海支部連合大会	愛知工大	9月29日(月) ～30日(火)	—	38-7 27p	海
九州支部 電気関係学会九州支部第50回記念連合大会	琉球大	10月3日(金) ～4日(土)	—	38-7 30p	九
中国支部 平成9年度電気・情報関連学会中国支部連合大会開催のお知らせ	広島大	10月25日(金)	—	38-9 39p	中
北陸支部 講演会	インテック	10月27日(月)	—	38-9 38p	陸
東海支部 講演会	名大	10月31日(金)	—	38-9 37p	海
東海支部 「センサの基礎と応用」専門講習会	名古屋通信ビル	11月6日(木) ～7日(金)	—	38-9 37p	海
東海支部 見学会	富士通沼津工場	11月12日(水)	10月30日(木)	38-9 38p	海
北陸支部 講演会	石川厚生年金会館	11月10日(月)	—	38-9 38p	陸
関西支部 平成9年度電気関係学会関西支部連合大会	関西大	11月23日(日) ～24日(月)	—	38-9 39p	西

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
 注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号に掲載されています。
 注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研:研究会係, 事:事業係, 国:国際係, 編:編集係, 総:総務係, 経:経理係, 会:会員係, 北:北海道支部, 東:東北支部, 海:東海支部, 陸:北陸支部, 西:関西支部, 中:中国支部, 四:四国支部, 九:九州支部。各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

研究発表会開催通知

(平成9年10月17日～10月29日)

◆第7回 分散システム運用技術研究会

(発表件数：12件)

(主査：林 英輔，幹事：岩原正吉，箱崎勝也，堀越 彌)

日時 平成9年10月17日(金) 9:30～17:30

会場 NTT 武蔵野研究開発センター 1-204B 会議室

[東京都武蔵野市緑町3-9-11. 新宿駅よりJR(中央線)：三鷹北口下車，バス(1番乗場)：武蔵野市役所前下車(約15分). または高田馬場駅より西武新宿線：東伏見下車，徒歩15分. Tel(0422)59-3117

e-mail:fujisaki@slab.ntt.co.jp (藤崎智宏). URL:http://dsm.slab.ntt.co.jp/dsm/y1997/sig3-prog.html]

議題

[9:30～11:30]

(1) 国内における地域IXの技術動向

中川郁夫(インテック・システム研究所)，米田政明(富山大)，安宅彰隆(富山県立大)

(2) プライベートなインターネットエクスチェンジを実現する経路制御手法の提案

今野幸典，樋地正浩(東北インターネット協議会)

(3) インターネット・トラフィックの短期的特性の分析

小松原重之，鈴木亮一，茂木一男，三上博英(NTT)

(4) 広域ATMネットワークにおける動的帯域制御法の提案

竹永吉伸，小林和真，山口 英(奈良先端大)

[13:00～17:30]

(5) インターネットを通じた学校間交流を支援する環境の構築

山根 健(慶大)，渡邊孝之(東北インターネット協議会)

(6) 小規模僻地校におけるネットワーク環境の構築・運用とその課題

渡部昌邦(福島県教育庁)，新田展弘(御木沢小)，齋藤武夫(東北インターネット協議会)

(7) ネットワークを利用した家電機器遠隔操作機構の構築

多田謙太郎，大野浩之(東工大)

(8) 分散環境におけるセキュリティ証跡解析方式の検討

平田俊明，浦野明裕，藤野修司，宮崎 聡(日立)

(9) 九州大学におけるWWWキャッシュサーバの運用と評価

笠原義晃，石田慶樹，古川善吾(九大)

(10) 構内コンピュータネットワークでの放送型情報システムの試行

日高 稔，森重健洋，廣澤敏夫(日立)，島津徹也(日立インフォメーションテクノロジー)

(11) 大規模分散システムの設計と実現 (1)～システムと利用者管理データベース～

萩原洋一，飯田卓郎，佐藤克巳(農工大)

(12) 基幹システムにおける高信頼ディレクトリサーバ

菊地 聡，松岡祐介，小瀧伯泰(日立)

◆第87回 グラフィクスとCAD研究会

(発表件数：9件)

(主査：大野義夫，幹事：青野雅樹，小堀研一，斉藤 剛)

日時 平成9年10月17日(金) 10:45～16:30

会場 山梨大学 工学部 A3号館 301号室

[甲府市武田4-3-11. JR(中央本線)：甲府下車，徒歩15分. Tel(0552)20-8652]

議題 特集：サイエンティフィックシミュレーションとCGおよび一般

[10:45～11:45]

(1) 曲面を考慮したラジオシティ法のためのパッチ分割法

白石路雄，山口 泰(東大)

(2) 平方充填バブル・メッシュ法を用いた自動四角メッシュ生成

伊藤貴之，井上恵介，山田 敦(日本IBM)，嶋田憲司(カーネギーメロン大)，古畑智武(日本IBM)

[12:45～16:30]

(3) 研磨効果を考慮した鏡のレンダリング

小澤奈緒，藤代一成(お茶の水女子大)

(4) CGマッピングの基礎的検討

藤田 昇，茅 暁陽，今宮淳美(山梨大)

(5) ダイナミックスモデルに基づく頭髪の運動表現

三枝 太，森島繁生(成蹊大)

(6) 三次元運動学に基づく顔面アニメーション

倉立尚明，Frederique Garcia，Hani Yehia，Eric Vatikiotis-Bateson(ATR)

(7) 透明層状光学系の可視化計算モデリング

平山英樹，門田良実(島根大)，金田和文，山下英生(広島大)

- (8) グラフィックス・アクセラレータを利用した 3 次元 LIC 法の高速度
喜久川誠, 藤田 昇, 茅 暁陽, 今宮淳美 (山梨大)
 - (9) VRML による可視化のためのデータ削減技術
小山田耕二 (日本 IBM)
- *研究会終了後, 懇親会を予定しています。

◆第 68 回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (発表件数: 10 件)
(主査: 野寺 隆, 幹事: 佐藤三久, 寒川 光, 朴 泰祐)

日 時 平成 9 年 10 月 17 日 (金) 11:00 ~ 17:30
会 場 石川ハイテク交流センター (北陸先端大隣接)
[石川県能美郡辰口町旭台 6-8. JR: 西金沢下車, 北陸鉄道 (石川線): 鶴来下車, 北陸先端大スクールバス利用 (約 10 分). Tel(0761)51-0106]

議 題

[11:00 ~ 12:00]

- (1) SRT 相互結合網のウェーハスタック実装における冷却について 井口 寧, 松澤照男, 堀口 進 (北陸先端大)
- (2) UPCHMS のパイプライン処理適用による評価
牧 晋広 (電通大), 石田 朗 (信州大), 岡本秀助, 曾和将容 (電通大)

[13:15 ~ 17:30]

- (3) ScaLAPACK の VPP500 への移植 稲荷 淳, 岡部寿男, 金澤正憲 (京大)
- (4) ワークステーション(WS)クラスタにおけるメッセージ通信性能の評価 奥野弘之, 堀口 進 (北陸先端大)
- (5) MPI を対象とする並列化コンパイラプロトタイプ開発とその評価 橋井邦夫, 小畑正貴 (岡山理科大)
- (6) 実用並列計算機モデル LogPQ による並列アルゴリズムの動作解析 當山孝義, 堀口 進 (北陸先端大)
- (7) 分散共有メモリ型並列計算機上での並列 FFT アルゴリズムの実装評価
武田利浩, 丹野州宣 (山形大), 堀口 進 (北陸先端大)
- (8) タンパク質立体構造研究支援のための並列統合解析システムの構築
鬼塚健太郎, 秋山 泰, 斎藤 稔, 野口 保 (RWCP)
- (9) 並列計算機による Cahn-Hilliard 方程式の数値解析 野口雄一郎, 谷 温之, 野寺 隆 (慶大)
- (10) 並列誤差逆伝搬学習法の解析的な学習速度評価 山森一人, 堀口 進 (北陸先端大)

◆第 22 回 音楽情報科学研究会 (発表件数: 5 件)
(主査: 平賀 譲, 幹事: 松島俊明, 村尾忠廣, 菜 孝之)

日 時 平成 9 年 10 月 18 日 (土) 10:00 ~ 16:30
会 場 早稲田大学 理工学部 55 号館 S 棟 2F 第 4 会議室
[東京都新宿区大久保 3-4-1. 高田馬場 (JR 山手線, 地下鉄東西線) より徒歩 13 分. Tel(03)3202-4141 (ext.73-2295)]

議 題

[10:00 ~ 11:45]

- (1) 音声認識とピッチ検出を併用した歌声の自動伴奏 東 英司, 橋本周司 (早大)
- (2) 尺八譜の自動認識システム 中屋真紀, 松島俊明 (東邦大)
- (3) Windows 版尺八譜の手書き入力編集システム 臼井淑晃, 松島俊明 (東邦大)

[13:00 ~ 16:30]

- (4) IJCAI'97 ワークショップ「AI と音楽における課題-評価」の開催報告 平田圭二 (NTT)
 - (5) 高速 1 ビット信号処理 山崎芳男 (早大)
 - (6) 見学 (14:30 ~ 16:30): 映像情報ラボ, マルチメディアスタジオ, インターメディア作曲講座
- * ICMC97 速報/平賀 譲 (情報大), 他も予定しています。

◆第 18 回 音声言語情報処理研究会 (発表件数: 7 件)
(主査: 中川聖一, 幹事: 岡田美智男, 小林哲則, 畑岡信夫)

日 時 平成 9 年 10 月 24 日 (金) 10:00 ~ 16:30
会 場 KDD 研究所 東棟 1F 大会議室
[上福岡市大原 2-1-15. 池袋駅から東武東上線: 上福岡下車, 徒歩 13 分. Tel.(0492)78-7397 (井ノ上).
URL:<http://www.lab.kdd.co.jp/kdd/overview/mapJ.html>]

議 題

[10:00~12:00]

- (1) 大語彙日本語連続音声認識研究基盤の整備—評価用連続音声認識プログラムの開発—
河原達也, 李 晃伸 (京大), 伊藤克亘 (電総研), 伊藤彰則 (山形大), 宇津呂武仁 (奈良先端大)
小林哲則 (早大), 清水 徹 (KDD), 田本真詞, 荒井和博 (NTT), 峯松信明 (豊橋技科大)
山本幹雄 (筑波大), 竹沢寿幸 (ATR), 武田一哉 (名大), 松岡達雄 (NTT), 鹿野清宏 (奈良先端大)
- (2) 大語彙日本語連続音声認識研究基盤の整備—学習・評価用テキストコーパスの作成—
伊藤克亘 (電総研), 伊藤彰則 (山形大), 宇津呂武仁 (奈良先端大), 河原達也 (京大)
小林哲則 (早大), 清水 徹 (KDD), 田本真詞, 荒井和博 (NTT), 峯松信明 (豊橋技科大)
山本幹雄 (筑波大), 竹沢寿幸 (ATR), 武田一哉 (名大), 松岡達雄 (NTT), 鹿野清宏 (奈良先端大)
- (3) 大語彙日本語連続音声認識研究基盤の整備—汎用音素モデルの作成—
武田一哉 (名大), 伊藤彰則 (山形大), 伊藤克亘 (電総研), 宇津呂武仁 (奈良先端大), 河原達也 (京大)
小林哲則 (早大), 清水 徹 (KDD), 田本真詞, 荒井和博 (NTT), 峯松信明 (豊橋技科大)
山本幹雄 (筑波大), 竹沢寿幸 (ATR), 松岡達雄 (NTT), 鹿野清宏 (奈良先端大)

[13:30~16:30]

- (4) 発話単位の分割または接合による言語処理単位への変換 竹沢寿幸, 森元 逞 (ATR)
- (5) 対話システムのための概念素理解方式による対話音声理解 永井明人, 石川 泰 (三菱電機)
- (6) 情報検索タスクにおける音声対話システムの対話管理手法の考察 井ノ上直己, 谷戸文廣, 橋本和夫 (KDD)
- (7) マルチモーダル観光案内対話システムへの擬人化エージェントの実装とその評価
傳田明弘, 伊藤敏彦, 中川聖一 (豊橋技科大)

◆第118回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 20件)

(主査: 中島 浩, 幹事: 木村康則, 関口智嗣, 宮田裕行)

デザインガイア~VLSI設計の新しい大地を考える研究会~

—設計自動化研究会: DA (後記参照), および電子情報通信学会 (4研究会) と同時 (一部合同) 開催—

日 時 平成9年10月28日(火) 13:00~17:00 ●共通企画: ARC・DA合同, 電子情報通信学会共催
29日(水) 8:00~17:00 ●一般講演: ARC単独

会 場 宮崎シーガイア ホテルオーシャン45/ワールドコンベンションセンターサミット

[宮崎市山崎町浜山。宮崎空港よりシーガイア直行バス(約30分)。またはJR宮崎駅よりシーガイア直行バス: ホテルオーシャン45下車(約20分)。Tel(0985)21-1158 Fax(0985)21-1156]

議 題

10月28日(火)

●共通企画: 21世紀に向けてのVLSIの研究開発について [ARC・DA合同, 電子情報通信学会 (4研究会) 共催]

[13:00~14:30] ●基調講演

(1) 次世代のPCプラットフォーム 西岡郁夫 (インテルジャパン)

[14:45~17:00] ●招待講演

(2) 21世紀のVLSIアーキテクチャ 村上和彰 (九大)

(3) サブクォータマイクロンLSIの設計技術 山品正勝 (NEC)

(4) 非同期式VLSIシステム設計 南谷 崇 (東大)

10月29日(水)

●一般講演: プロセッサ・アーキテクチャおよび一般

[8:00~11:50]

(5) 3次元階層型超並列コンピュータネットワーク 堀口 進, 大木孝之 (北陸先端大)

(6) 次世代の高速大容量シリアルリンクアーキテクチャの提案 弘中哲夫, 土江竜雄 (広島市立大)

(7) 大規模データパスプロセッサにおけるフェッチ機構の検討
辻 秀典, 中村友洋, 吉瀬謙二, 安島雄一郎, 田中英彦 (東大)

(8) 伝搬遅延による配線経路探索プロセッサ 佐野雅彦, 高橋義造 (徳島大)

(9) ジオメトリプロセッサProcyonのアーキテクチャ
安里 彰, 岩田 靖, 西本晴子 (富士通研), 中山 寛 (富士通), 木村康則 (富士通研)(10) ジオメトリプロセッサProcyonの評価
新井正樹 (新情報富士通研), 西崎慎一郎 (富士通SSL), 安里 彰, 小沢年弘, 木村康則 (新情報富士通研)

(11) 実行時再構成可能なアーキテクチャを用いたMPEGエンコーダの実現 國枝博昭, 一色 剛, 大上晃弘 (東工大)

- (12) 実時間可変構造パイプライン計算機における画像変換 長谷川誠 (静岡大)
[13 : 10 ~ 17 : 00]
- (13) オンチップMIMDプロセッサにおける実行時並列化機構の性能評価 玉造潤史, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- (14) 低コストハードウェア分散共有メモリ 田中清史, 松本 尚 (東大), 対木 潤 (富士通), 平木 敬 (東大)
- (15) 共有メモリ vs. メッセージパッシング 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- (16) 非対称分散共有メモリにおける最適化コンパイル技法の評価 丹羽純平, 稲垣達氏, 松本 尚, 平木 敬 (東大)
- (17) FPAA : Field Programmable Accumulator Array 越智裕之 (広島市立大)
- (18) 非同同期式プロセッサ TITAC-2 の性能解析 小沢基一, 高村明裕, 上野洋一郎, 南谷 崇 (東工大)
- (19) 非同同期式プロセッサを用いたコンピュータシステムの実現 上野洋一郎, 高村明裕, 小沢基一 (東工大), 桑子雅史, 南谷 崇 (東大)
- (20) データバスの特性を考慮した非同同期制御回路の一設計手法 桑子雅史 (東大), 石川 誠, 上野洋一郎 (東工大), 南谷 崇 (東大)

* 28日の共通企画は、電子情報通信学会(コンピュータシステム(CPSY)研究会, VLSI設計技術(VLD)研究会, フォールトトレラントシステム(FTS)研究会, 集積回路(ICD)研究会)と共催。

* 懇親会: 28日の夜, シーガイアオーシャンドームにおいて予定しています(会費: 8,000円)。ぜひご参加ください。

◆第85回 設計自動化研究会

(発表件数: 24件)

(主査: 吉田憲司, 幹事: 小山正弘, 寺井正幸, 若林真一)

デザインガイア~VLSI設計の新しい大地を考える研究会~

ー計算機アーキテクチャ研究会: ARC(前記参照), および電子情報通信学会(4研究会)と同時(一部合同)開催ー

日 時 平成9年10月28日(火) 13:00~17:00 ●共通企画: ARC・DA合同, 電子情報通信学会共催
29日(水) 8:00~16:50 ●一般講演: DA, 電子情報通信学会(CPSY)共催

会 場 宮崎シーガイア(所在地は前記参照)

議 題

10月28日(火)

●共通企画: 21世紀に向けてのVLSIの研究開発について [ARC・DA合同, 電子情報通信学会(4研究会)共催]
(前記ARC(1)~(4)参照)

10月29日(水)

●一般講演: システム設計とCAD技術および一般

[8:00~11:40]

- (5) On VLSI Decompositions for deBruijn Graphs 今井 賢, 山田敏規, 上野修一 (東工大)
- (6) 準同期式におけるクロック配線駆動配置手法 高橋 渡, 高橋篤司, 梶谷洋司 (東工大)
- (7) Cost-Radius Balanced Plane Steiner Tree 三林秀樹, 高橋篤司, 梶谷洋司 (東工大)
- (8) リーフセル用配線システム 四宮典子, 福井正博 (松下電器), 西垣泰男 (松下ソフトリサーチ)
- (9) ディープサブミクロンゲートアレイの設計事例 堀内重則, 古田康幸, 鈴木五郎 (日立)
- (10) Precomputed table を用いたバストランジスタ論理の遅延計算手法 李 副烈 (神戸大), 小西健三 (シャープ), 瀧 和男 (神戸大)
- (11) 高速基板の伝送線路ノイズ自動検証システム 藺田英明, 小林光明, 横田隆弘 (日立)
- (12) アナデジ混在LSIのチップ一括機能検証手法の確立 植松 博 (日立超LSIエンジニアリング)
本野洋輔, 岩淵真人, 古川且洋 (日立), 山崎 隆 (日立超LSIエンジニアリング)
- (13) 連想メモリを搭載したハードウェアエンジンによる故障回路並列故障シミュレーションの高速化手法 福山誠一郎, 戸川 望, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)
石原 亨, 安浦寛人 (九大)
- (14) 可変電圧プロセッサを用いたシステムレベルの電力最適化手法 高橋隆一, 吉田典可 (広島市立大)
[13 : 10 ~ 16 : 50]
- (15) 完全なインターロックを行うパイプラインCISC/RISCの設計教育 幸田武範, 上林彌彦 (京大)
- (16) ブロック統合を用いたFPGA面積最小化
- (17) 多量の配線要素をもつ通信処理向けFPGAの専用CADシステム 室岡孝宏, 高原 厚, 宮崎敏明, 筒井章博 (NTT)
- (18) ビットシリアルFPGAのフルカスタム設計 國枝博昭, 一色 剛, 清水頭武信, Imanuddin Amril, 太田章久 (東工大)
- (19) ビットシリアルFPGAのパイプラインデータバス合成法 國枝博昭, 一色 剛, 清水頭武信, 太田章久 (東工大)

(20) パターンによる回路変換を併用したトランスダクション法

熊沢雅之 (京大), 澤田 直 (九大), 上林彌彦 (京大)

(21) 対称変数の検出による関数分解の高速化と多段論理合成への応用 澤田 宏, 山下 茂, 名古屋彰 (NTT)

(22) 属性文法を用いた VHDL-AMS の意味解析手法 佐々木健 (東工大), 佐々木尚 (東芝), 水島和憲 (東工大)

(23) 合成ディレクティブを組み込んだ動作レベル設計記述言語 舟本一久, 五島正裕, 森真一郎, 富田真治 (京大)

(24) ハードウェアコンパイラ BACH 西田浩一 (シャープ), Andrew Kay (シャープヨーロッパ研究所)

山田晃久, 神戸尚志 (シャープ), 野村俊夫 (シャープヨーロッパ研究所)

* 電子情報通信学会 (28 日共通企画: 上記 4 研究会, 29 日: CPSY 研究会) と共催。

* 懇親会 (上記 ARC 参照)

~~~~~

## \*\*\*研究会 論文募集\*\*\*

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名(登壇者に○)、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel., Fax., e-mail)を明記の上、各研究会照会先まで e-mail または Fax で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛 (e-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

## ◆モバイルコンピューティング研究会

日 程 平成9年12月4日(木)・5日(金)

会 場 倉敷芸術科学大学

発表申込締切 平成9年9月24日(水) \*できるだけ e-mail でお願いします。

照会先 寺岡文男(ソニー CSL) e-mail: tera@SonyCSL.co.jp Fax(03)5448-4273

## ◆オーディオビジュアル複合情報処理研究会

第19回研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。多数のご応募を期待しています。

日 時 平成9年12月5日(金) 13:00~17:00(予定)

会 場 早稲田大学 理工学部

議 題 テーマ: サイバースペース, およびマルチメディア一般

発表申込締切 平成9年9月26日(金) \*発表申込概要は200字程度でお願いします。

照会先 小谷野浩(NTT) e-mail:koyano@nttvd.hil.ntt.co.jp Tel(0468)59-2330 Fax(0468)59-2829

## ◆計算機アーキテクチャ研究会

## ◆設計自動化研究会

標記2研究会を下記のとおり合同開催いたします。多数の発表申込をお待ちしています。

日 程 平成9年12月11日(木)

会 場 大阪大学 基礎工学部 国際棟シグマホール(豊中市待兼山町1-3)

議 題 テーマ: 機能論理設計, アーキテクチャ設計支援と一般

発表申込締切 平成9年10月13日(月) \*できるだけ e-mail でお願いします。\*発表申込概要: 46字以内。

照会先 宮田裕行(三菱電機) e-mail:miyata@isl.melco.co.jp Tel(0467)41-2518 Fax(0467)41-2526

\*研究会終了後、懇親会が予定されております。

\*翌日(12日)は、同会場で電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会, コンピュータシステム研究会の共催)が連続開催されます。

## ◆音声言語情報処理研究会

日 程 平成9年12月11日(木)・12日(金)

会 場 NTT 横須賀研究開発センタ

議 題 テーマ: 認識, 対話, 一般

発表申込締切 平成9年9月30日(火)

照会先 小林哲則(早大) e-mail:koba@tk.elec.waseda.ac.jp Tel(03)5286-3379 Fax(03)3205-9381

\*電子情報通信学会(音声研究会, 言語処理とコミュニケーション研究会), 日本音響学会(音声研究会)と共催。

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

日 程 平成 9 年 12 月 12 日 (金)

会 場 慶應義塾大学 (三田)

発表申込締切 平成 9 年 9 月 29 日 (月)

\* e-mail にて Subject: IPSJ-HPC-Application として hpc-kanji@etl.go.jp までお送りください。

◆音楽情報科学研究会

日 程 平成 9 年 12 月 13 日 (土) ・ 14 日 (日)

会 場 東京地区を予定。\* 当初の予定 (国立音大) より変更の可能性有。

発表申込締切 平成 9 年 9 月 19 日 (金)

照 会 先 栗 孝之 (国立音楽大) e-mail:rai@kcm-sd.ac.jp Tel(0425)35-9562 Fax(0425)34-3717

◆グラフィクスと CAD 研究会

日 程 平成 9 年 12 月 18 日 (木)

会 場 東京電機大学 (千代田区神田)

申込締切 平成 9 年 9 月 29 日 (月) \* できるだけ e-mail でお願いします。

照 会 先 斉藤 剛 (東京電機大学) e-mail:saitoh@c.dendai.ac.jp Tel/Fax(03)5280-3323

~~~~~

◆第 2 回 電子化知的財産・社会基盤研究グループ研究会

(発表件数：16 件)

(主査：森 亮一，幹事：工藤育男，名和小太郎，松本恒雄)

知的財産権に関する法律の整備は現在最も緊急の課題です。この問題を中心に、倫理や社会制度的な問題について、この分野の専門家も非専門家も集って、エンジニアもロイヤーもエコノミストもジャーナリストも教育者も、既成の枠を越えて議論できる場を提供したいと考えています。

参加ご希望の方は直接会場にお越しください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお、プログラムの講演順序は暫定的なものです。会場詳細等の最新情報は、下記の研究グループホームページ、またはメイリングリストにてご案内予定です。

日 時 平成 9 年 10 月 4 日 (土) 10 : 00 ~ 16 : 30 (* 受付開始 : 9 : 30)

会 場 早稲田大学 理工学部 * A ・ B 会場の平行開催です。

[東京都新宿区大久保 3-4-1. JR または地下鉄：高田馬場下車，徒歩 10 分。Tel(03)3203-4141 (代)]

議 題 シンポジウム：情報倫理教育 < A 会場 >，エレクトロニックコマース < B 会場 >

[10 : 00 ~ 12 : 00] ●情報倫理教育(1) < A 会場 >

(1) 題目未定 西村恕彦 (農工大)

(2) 高度情報化社会における情報倫理教育の提案—教育界での問題点の整理と授業構成の試み—

岡本敏雄，香山瑞恵 (電通大)，中村直人 (千葉工大)，横山節男 (東京学芸大)

(3) 情報通信倫理綱領試案 (電子情報通信学会) の紹介 上園忠弘 (城西国際大)

[10 : 00 ~ 12 : 00] ●エレクトロニックコマース(1) < B 会場 >

(4) EC 設計の課題 池田 誠 (会津大)

(5) 電子透かし技術の著作権保護への適用における課題 山中喜義，高嶋洋一 (NTT)

(6) ネットワークセキュリティの法律問題 高橋郁夫 (弁護士)

[13 : 00 ~ 15 : 00] ●パネル討論：情報倫理と教育 < A 会場 > 司会：名和小太郎 (関西大)

(7) 学校教育と情報倫理，ネチケット 高橋邦夫 (東金女子高校)

(8) 『インターネットの倫理』の不可能性について 土屋 俊 (千葉大)

(9) 情報通信分野における研究と倫理—教育・研究・開発倫理の再点検と新たな秩序を目指して— 塚本享治 (電総研)

[13 : 00 ~ 15 : 00] ●パネル討論：エレクトロニックコマースの法的課題 < B 会場 > 司会：松本恒雄 (一橋大)

(10) 本人認証と認証局 菅 知之 (ECOM)

(11) 電子署名 吉田一雄 (清和大)

(12) 電子マネー 大野幸夫 (新潟大)

[15 : 10 ~ 16 : 30] ●一般講演 < A 会場 >

(13) ヒューマンインターベンションとしてのネットワークオペレーションに関する検討

—医療分野における検討内容との比較—

中川晋一, 石川光一 (国立がんセンター研究所)

(14) JP ドメイン名空間の開拓—業種別ドメインの提案—

下野隆生 (長野大)

[15: 10 ~ 16: 30] ●一般講演 < B 会場 >

(15) オンライン電子出版と小額課金システム: 実証実験と電子マネー政策の課題

藤田昭平 (東京工大)

(16) 計算万能性は自然法則である

稲垣耕作 (京大)

参加費 情報処理学会会員: 1500 円, 学生会員: 500 円, 非会員: 2500 円

*参加費は当日会場にてお支払いください。事前に登録する必要はありませんが, 下記研究グループのメーリングリストへのご登録をお勧めします。開催案内(会場地図, 次回の案内など)の送付, また討論の場としてもご利用いただけます。

照会先 工藤育男 (ジャストシステム) e-mail:lkuo_kudo@justsystem.co.jp Fax(03)5412-3988

* EIP メーリングリスト: eip-member@k.tsukuba-tech.ac.jp (登録方法は下記ホームページを参照ください。)

* EIP ホームページ: <http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-eip/>

* 第 3 回開催のご案内: 一般講演を受け付けております。主査・幹事宛 eip-sec@k.tsukuba-tech.ac.jp にご連絡ください。

日程:平成 10 年 1 月 31 日 (土) * 日程が変更されておりますのでご注意ください。 会場:情報大 (予定)

発表申込締切:平成 9 年 10 月末日 原稿締切: 12 月 25 日 (木)

コンピュータサイエンス領域の CD-ROM 刊行について (お知らせ)

平成 7・8 年度コンピュータサイエンス領域

委員長:増永良文 (情報大), 財務委員:吉澤康文 (農工大)

コンピュータサイエンス領域では平成 8 年度開催の全シンポジウム講演論文集を CD-ROM 化し, 同領域に所属する 9 研究会*の登録者全員 (名寄せ数:約 1,700 人)に配布 (8 月上旬) いたしました。

これは研究会主催のシンポジウム講演論文集の流通改善に役立つと期待されると同時に, 今後の学会の電子化の在り方に一石を投じることを目的とした試みです。今回は一般会員の皆様への配布までには至りませんでした, 今後は広域配布も含めて検討予定です。

* コンピュータサイエンス領域所属研究会: データベースシステム, ソフトウェア工学, 計算機アーキテクチャ, システムソフトウェアとオペレーティング・システム, 設計自動化, ハイパフォーマンスコンピューティング, プログラミング, アルゴリズム, 数理モデル化と問題解決

情報処理学会第 56 回全国大会（会場：中央大学理工学部） 講演・デモセッションの募集について

第 56 回全国大会では一般講演のほかに「デモセッション」を広く募集いたしますので、下記事項をご熟読の上、お申し込みください。

日 程 平成 10 年 3 月 17 日（火）～ 3 月 19 日（木）
会 場 中央大学理工学部（東京都文京区春日 1-13-27）

A. 講演申込

講演資格 資格不問

- 申込方法
1. 本学会告掲載の「一般講演申込書」または「デモセッション申込書」に必要事項を記入して郵送でお申し込みください。（Fax は不可）
 2. インターネットでのお申込みも可能です。この場合は、本学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp>）をご参照ください。ただし、申込締切日当日は回線が混雑しますので、余裕をもってお申し込みください。また、受理された申込みについては 12 月 12 日までに必ず受領メールを返信します。ご注意ください。
 3. 連続講演または複数講演申込を希望する場合には内訳書を添付（書式自由）し、その旨明記の上まとめて提出してください。この場合インターネットでの申込は受け付けません。

- 講演内容
1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
 2. 発表は日本語または英語とします。

講演参加費（1 件につき）

1. 登壇発表者が正会員：9,450 円 学生会員：5,250 円（本学会ならびに電子情報通信、電気、映像情報メディア、照明の会員番号をお持ちの方もしくは本学会入会申請中の方）
2. 1. に該当しない方
一般：19,950 円、学生：9,450 円
講演申込締切後、会費のお支払状況を含めて講演資格の審査を行いますのでご注意ください。

講演参加費の納入

1. 講演参加費は、講演申込時持参、郵便・銀行振込または請求書到着後平成 10 年 3 月 10 日（火）までに納入してください。
東京三菱銀行虎ノ門公務部 0003774 社団法人情報処理学会講習会 郵便振替 00150-4-83484
なお、講演参加費は、講演のキャンセルをされても返金いたしませんのでご注意ください。
2. 請求書は 12 月下旬の発送となります。

講演申込締切 平成 9 年 12 月 5 日（金）必着

講演番号 申込受付終了後、該当分野キーワードによりプログラム編成を行い講演番号を決定します。講演番号決定後は発表セッション等の変更はできません。論文の該当分野キーワードは十分ご確認のうえご記入ください。

講演番号等の通知 申込受付後、講演番号・論文執筆要領・参加章引換券・学術情報センター用データシートを 12 月下旬に発送します。

B. 論文原稿

- 論文の提出
1. 論文は日本語または英語で 3 部提出してください。
 2. 論文は 1 ページないし 2 ページとします。
 3. 学術情報センター用データシートは記入要領に従い記入の上論文と一緒に提出してください。なお、データシートの著作権は学術情報センターと学会との共有です。
 4. 講演論文集ならびにその CD-ROM に収録された論文の著作権は本学会に帰属します。
 5. 論文原稿提出後の訂正は一切取り扱いません。よく推敲して提出してください。
 6. 原稿の返却はいたしません。

論文の採否 講演論文の採否は大会プログラム編成委員会が決定します。採択しないものはたとえば次のような場合です。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。

2. 内容が商業宣伝に偏したもの（極端な商品名の引用には注意する）。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの（次回への応募をお勧めします）。

発表論文の別刷 作成しません。

講演論文提出締切 平成 10 年 1 月 16 日（金）必着

C. 講演者への注意事項

講演者心得

1. 講演の始まる前に、講演者受付で出席の確認を受け、自分の講演論文が掲載されている論文集（CD-ROM 付）（無料）、大会プログラム（無料）および参加章を受け取ってください。
2. 直前の講演者の講演時間中には、座長席の近くに設けられた講演者控え席で待機してください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて 15 分間とします。講演中でも持ち時間が切れれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。
6. 講演のキャンセルは、会期前は本学会事業係まで Fax または電子メールにて、大会会期中は総受付（電話番号は追って会告します）まで口頭で、すみやかにご連絡ください。

AV 機器の使用 OHP（透過型）は全講演者に対し準備いたします。これ以外の機器はお持ち込みください。

D. デモセッションについて

研究分野として、コンピュータの機器を直接利用して、聴講者に表示したほうがわかりやすい研究素材が存在すると考えられます。たとえば、GUI (Graphical User Interface) の研究、UI (User Interface) の研究、ワードプロセッサの研究、形態に関する研究、PDA、モバイルなど。また、学術的な内容にこだわらず商業ベースのものも広く募集いたします。

発表形式：デモは 1 件の申込に対して 1 日単位で行えます。ポスターセッション形式で他のデモとパラレルに行います。講演発表（一般講演の 15 分）はできませんが、デモの内容を論文集に掲載します。講演発表をしたい場合には、デモセッション申込とは別に一般講演の申込を行ってください

デモセッション参加費：一般講演と同様です。（3 日間通してデモを行いたい場合の参加費は、講演参加費×3 日間となります）

デモセッションの開催日：下記の日程から選択となります。（日程は予定）

平成 10 年 3 月 17 日（火）9：00～17：00

3 月 18 日（水）9：00～17：00

3 月 19 日（木）9：00～17：00

（3 月 16 日に機器の搬入、デモのリハーサルを予定）

その他デモセッションにかかる費用：機器の搬入／搬出費、設置費、現地調整費、展示の装飾費等は講演者、発表者負担とします。

学会が支援する設備：デモブース、電源、ネットワーク（10base/T）を予定しております。デモセッションを申し込まれる場合は所要の設備条件、スペース、レイアウト等（書式自由）を申込書の所定欄にご記入ください。不明点、詳細は照会先にご相談ください。

注意事項：全国大会の現地環境、設備等の量的な制約がありますので、申込みをいただいても対応できない場合はご容赦願います。デモセッションのプログラムは申込みをまとめた後に、提示いたします。

E. 講演申込先

（電子メール）<http://www.ipsj.or.jp> をご参照ください。

（郵送）（社）情報処理学会 事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

（持参）JR 山手・京浜東北線田町駅芝浦側（東口）下車、徒歩 5 分、三和銀行右隣芝浦前川ビル 7F

受付時間 9:00～17:15

F. その他

大会プログラム 学会誌 2 月号（平成 10 年 2 月 15 日発行）ならびに本学会ホームページ（<http://www.ipsj.or.jp>）

に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

- 表彰**
1. 全国大会で発表された方のうち、特に優秀な論文の登壇発表者 10 名を大会優秀賞として表彰します。また大会奨励賞として情報処理に関連する学術・技術の奨励のため、学部卒 10 年までの新進の科学者または技術者の論文の登壇発表者 10 名を表彰します。
 2. 大会優秀賞・大会奨励賞の対象者は、本学会個人会員に限られます。

照会先 (社) 情報処理学会 事業係

e-mail:jigyo@ipsj.or.jp http://www.ipsj.or.jp

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

F. 該当分野キーワード

講演申込書の該当分野キーワードの欄には、次のように記入してください。

例：アーキテクチャ（大項目）の設計自動化（中項目）のレイアウト合成（小項目）の場合は、「1405」と書いてください。（該当分野キーワード参照）

大項目	中項目	小項目
1 アーキテクチャ	1 計算機アーキテクチャ	01 計算機システムアーキテクチャ, 02 アーキテクチャ全般 (プロセッサ, 相互結合網, メモリ, 磁気ディスク, I/Oを含む), 03 フォールトトレランス, リアルタイムシステム, 04 ソフトウェアシステム (OS, コンパイラ, ツール) とのインタフェース, 05 並列処理アーキテクチャ, 06 並列処理ハードウェア, 07 VLSI アーキテクチャ, 08 専用プロセッサ (DSP など), 99 その他 ()
	2 システムソフトウェアとオペレーティングシステム	01 システム性能評価, 02 オペレーティングシステム全般 (プロセス管理, メモリ管理, ファイルシステムを含む), 03 OS 構成法, 04 並列/分散 OS, 05 ネットワーク実現技術, 06 ネットワークプロトコル, 07 サーバ実現技術, 08 リアルタイムシステム, 09 言語処理系, 10 ネットワークセキュリティ, 11 モバイルコンピューティング, 99 その他 ()
	3 ハイパフォーマンスコンピューティング	01 計算科学 (数値計算), 02 シミュレーションの理論と実際 (モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 03 高速・高性能システム (超並列 WS), 04 利用技術/性能評価と提言, 05 計算と計算機を結ぶ技術 (可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバッグツール等), 99 その他 ()
	4 設計自動化	01 設計自動化技術 (集積回路, 装置システム等), 02 エレクトロニクス用 DA/CAD, 03 HDL, 04 論理合成, 05 レイアウト合成, 06 形式的検証, 07 テスト, 99 その他 ()
2 ソフトウェア科学・工学	1 アルゴリズム	01 グラフやネットワークに関するアルゴリズム, 02 計算幾何学と計算代数学, 03 暗号系や認証のアルゴリズム, 04 確率アルゴリズムと近似アルゴリズム, 05 分散・並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム, 06 データ構造, 07 オートマトン・計算複雑度理論, 08 オンラインアルゴリズム, 09 文字列処理, 10 アルゴリズムの応用と実用, 99 その他 ()
	2 数理モデル化と問題解決	01 数理モデル化全般と解法, 02 オペレーションズリサーチ, 03 グラフ理論やネットワークフロー理論, 04 逆問題, 05 モデル化の教育, 06 各種モデルの応用, 07 定式化, 99 その他 ()
	3 ソフトウェア工学	01 要求定義, 設計手法, 02 形式的仕様, 03 開発管理, 04 メトリクス, 05 検査, 検証, 06 ソフトウェア開発支援環境や CASE, 07 標準化, 08 再利用, プログラム合成, 09 人的要因, 教育, 10 ソフトウェアプロセス, 11 知識処理技術のソフトウェア工学への応用, 12 品質, 13 保守, 14 リバースエンジニアリング, 15 プロトタイピング, 99 その他 ()
	4 プログラミング	01 プログラミング言語の基本概念・設計原理・実装技術, 02 各種プログラミング, 03 プログラミング方法論 (ビジュアルプログラミング等), プログラミング環境 (処理系, ツール等), 04 プログラミング技術 (ガーベジコレクション等), 05 並列化コンパイラ, 並列処理言語, 並列デバッグ, 06 分散オブジェクト指向プログラミング (Java 等), 99 その他 ()
3 人工知能と認知科学	1 人工知能	01 知識表現, 02 推論・探索, 03 学習, 04 認知モデル, 05 ニューラルネット, 06 知識ベース, 07 オントロジ, 08 知識交換言語, 09 エキスパートシステム, 10 分散・協調 AI, 11 ファジー理論, 12 パターン・自然言語の理解, 13 知的インタフェース, 14 AI アーキテクチャ, 15 複雑系, 16 人工生命, 17 生体情報処理, 18 遺伝的アルゴリズム, 19 知能メカニズム関連研究と応用システム, 20 エージェントモデル, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目
	2 自然言語処理	01 言語理論, 02 言語行動, 03 言語資料・統計, 04 辞書 (レキシコン), 05 言語コーパス, 06 形態素解析, 07 統語解析, 08 意味解析, 09 文脈解析, 10 対話 (システム), 11 談話理解・語用論, 12 知識表現, 13 機械翻訳, 14 自然言語処理ソフトウェア, 15 自然言語インタフェース, 16 校正支援, 99 その他 ()
	3 音声言語情報処理	01 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成), 02 音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳), 03 言語モデルと音声言語コーパス, 04 音声インタフェースと音声応用, 99 その他 ()
	4 視覚情報処理	01 視覚認識, 02 視覚・映像メディア処理, 03 画像処理, 04 画像理解, 05 物体認識, 06 文字・図形の処理と認識, 07 3次元復元, 08 ステレオ視, 09 運動解析, 10 距離解析, 11 色彩解析, 12 ロボットビジョン, 13 画像処理プロセス, 14 画像・ビデオ映像の知的編集および知的映像効果の生成, 15 立体テレビ, 16 人物画像処理, 99 その他 ()
	5 音楽情報科学	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 02 音楽信号処理, 03 AIと音楽, 04 音楽の認知・知覚・感性情報, 05 音楽情報処理システム, 06 音楽学や音楽芸術と計算機技術, 99 その他 ()
4 データベースとメディア	1 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計・システム分析設計, 04 一貫性制約・アクティブDB, 05 DBMS, 06 質問処理, 07 トランザクション管理・OLTP, 08 物理的記憶構造, 09 信頼性・障害時回復・安全性, 10 超並列DB, 11 DB専用ハードウェア (RAIDなど), 12 分散型DB・マルチDB, 13 データウェアハウス, 14 情報資源管理とリポジトリ, 15 オブジェクト指向DB, 16 マルチメディアDB (テキストDB・画像DB・動画DB・VODなど), 17 履歴DB・版管理, 18 地理DB・空間データ管理, 19 オフィス情報システム, 20 グループウェアDB, 21 エンジニアリングDB, 22 サイエントیفリックDB・遺伝子DB, 23 データベース発掘・知識発見, 24 モバイルDB, 25 DB高度応用, 99 その他 ()
	2 情報検索	01 情報検索技術, 02 シソーラス, 03 ハイパertext・ハイパメディア, 04 インターネットDB (エージェントなど), 05 電子図書館, 06 全文検索, 07 ベンチマーク, 99 その他 ()
	3 メディアと情報	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 情報概念体系, 03 辞書・用語, 04 大量情報の組織化, 05 情報の知識化, 06 マルチメディアコンテンツ創作・表現・編集, 07 マルチメディアコンテンツ検索・流通・管理, 08 メディア論, 09 構造化記述 (SGML, HTML, VRMLなど), 99 その他 ()
5 ネットワーク	1 マルチメディア通信と分散処理	01 分散処理, 02 分散コンピューティング, 03 高速通信, 04 コンピュータネットワーク, 05 マルチメディア通信とその応用, 06 プロトコル, 07 ネットワーク管理, 08 エージェント通信, 09 分散協調, 10 インターネット, 11 イントラネット, 12 ネットワークセキュリティ, 99 その他 ()
	2 分散システム運用	01 コンピュータネットワーク運用・管理, 02 ダウンサイジング (クライアント/サーバ), 03 ライセンシング, 04 セキュリティ, 05 教育・技術移転, 99 その他 ()
	3 マルチメディア符号化	01 高品質・低ビットレート画像, 02 音声信号処理, 03 符号化システム, 04 マルチメディアの国際標準化 (MPEG, DAVIC等), 99 その他 ()
	4 モバイルコンピューティング	01 移動体通信計算機環境 (言語, OS, インタフェース等), 02 携帯端末 (アーキテクチャ, デバイス等), 03 セキュリティ, 04 移動体ネットワーク (アーキテクチャ, プロトコル, 管理運用等), 05 無線ネットワーク (衛星通信, 無線LAN等), 06 分散協調プロトコル, 07 ユービキタスコンピューティング, 08 モバイルエージェント, 09 ロボットシステム, 10 モバイルアプリケーション, 11 モバイル社会システム, 99 その他 ()
6 インタフェース	1 ヒューマンインタフェース	01 計算機システムのインタフェース, 02 マルチメディア/マルチモーダルインタフェース, 03 コミュニケーションとインタフェース, 04 協同作業のインタフェース, 05 文書処理のインタフェース, 06 認知情報処理, 07 インタフェースデザイン技法, 08 インタフェース評価法, 09 知的ヒューマンインタフェース, 11 感性情報処理, 12 ヒューマンファクタ, 13 障害者補助, 99 その他 ()
	2 グループウェア	01 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学), 02 グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育), 03 グループワークインフラ (ワークフロー, グループ通信), 04 分散オフィス, 05 マルチユーザのインタフェース, 06 電子会議, 電子掲示板, 07 事例, 08 仮想環境におけるヒューマンインタラクション, 99 その他 ()
	3 グラフィクスとCAD	01 形状モデリング, 02 CGシステム, 03 CG用モデリング (モーションキャプチャリングやフラクタル等), 04 レンダリング, 05 CG応用 (アニメーション, イラスト等), 06 CAD/CAMシステム, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目
	4 仮想現実感	01 センサ (磁気, 超音波, 生体信号等), 02 感覚提示技術 (視覚, 聴覚, 力覚等), 03 仮想環境とシミュレーション, 04 仮想物体の操作, 05 コミュニケーション技術, 06 臨場感通信とテレイグジスタンス, 07 AR (強化された現実), 08 応用事例, 99 その他 ()
7 コンピュータと人間社会	1 情報システム	01 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用, 02 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 03 情報システムと人間・組織・社会との相互関連, 04 情報システムのマネジメント (情報システム監査, 危機管理など), 05 産業分野への応用, 06 公共分野 (社会) への応用, 07 企業経営と情報システム, 08 新しい情報技術 (インターネット, モバイルなど) の活用, 99 その他 ()
	2 コンピュータと教育・学習	
	3 コンピュータと社会	01 人文・社会科学における情報処理, 02 博物館・美術館における情報処理, 03 マルチメディアシステムの応用, 04 知的所有権, 05 情報の社会的側面, 06 情報倫理, 07 防災と情報, 99 その他 ()
	4 医療分野への応用	01 基礎医学, 02 臨床医学, 03 社会医学, 04 医療情報システム, 05 歯学, 06 薬学, 99 その他 ()
	5 企業活動への応用	
	6 標準化	01 規格・標準化, 99 その他 ()
8 その他		

情報処理学会第 56 回全国大会
デモセッション申込書

掲載 ページ	
-----------	--

受 番	付 号	
講 番	演 号	

第 56 回全国大会に下記によりデモセッション申込をいたします。

標 題注 1)					
フリガナ注 1)	申込者				
著者名					
所属名					
該当分野注 2) キーワード	(1)	(2)	申込者 会員番号		
申込者申込区分	・本会 (正会員・学生会員・申請中 (/ 付)) (必ずご記入ください.) ・他会員 (正会員・学生会員/電子情報通信・電気・映像情報メディア・照明)・非会員・非会員学生				
デモ希望日 (複数可)	3/17, 3/18, 3/19	持ち込み予定の機 器(すべて持ち込みが原則)			
回線設備 使用の有無	有・無 回線種別: インターネット/ISDN/電話線		所要電源 容量・設備面積	() KVA	() m ²

- 注 1) 学会誌および会場配布用の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、提出後の題目、氏名の変更はできません。
 注 2) 本会告の該当分野キーワードを参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。
 注 3) デモは、1 日について参加費 1 人分となりますので、3 日間の場合はその 3 倍となります。

論文要旨 (150 字程度)

--

関連講演題目 (関連する一般講演のある場合お書きください。)

デモ内容の要約原稿	用意する	用意しない	(○で囲む)
-----------	------	-------	--------

デモセッション用書類送付宛名

(楷書でハッキリ記入してください)

送付先 _____

機関・部課名 _____

講演者氏名 _____ 殿

Tel. _____ (ext. _____) Fax. _____

e-mail _____

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

行事 No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
 欠席の場合も参加費は返金いたしません。
 会員の方は必ず会員 No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (A は該当番号に○)

A : 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B : 会員 No.			C : ご氏名	
D : 勤務先			E : ご所属	
F : 郵便番号	G : ご住所			
H : Tel			I : Fax	
J : e-mail				

送付先, 照会先などが上記と異なる場合のみ下記に記入

K :

申込行事

L : 行事 No.	
M : 参加費	円
N : 懇親会費	円
O-1 : 論文集のみ	円
O-2 : 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)

P : 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q : たばこ	(1) すう (2) すわない
R : 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S : 通信欄	

T : 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *
	(4) 当日持参
	(5) 現金書留
[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日を分かる範囲で記入	

U : 送金名義人

V-1 : 請求書 通 V-2 : 見積書 通 V-3 : 納品書 通

W : 請求書記載名義

X : 送金に関する問合せ先

申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 e-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)

e-mail:jigy@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)

* e-mail での申込み:各項目はカンマ(,)で区切り,(1) ... (5)は選択,その他は文字を記入のこと。

[例] A : (1), B : 9999999, C : 情報太郎,... T : (1) (1月30日送金予定), U : 情報太郎, V-1 : 1, V-2 : 1, V-3 : 1, W : (株) × × 電気, ...

IPSJ KAIKOKU

行事 No. RS97

「連続セミナー 97」参加者募集

昨年度は、「ネットワークコンピューティング時代の情報処理技術—理論と実践」というテーマで、主たる対象を中堅 SE とした実務講座を開催し、これまで参加者から好評を得ています。本年度は引き続き中堅 SE を対象とし、時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容と実務的な内容とをとりまぜて、受講者にとってより有益な情報、知識獲得の場といたしたく、「ネットワークは社会と個人をどう変えるか—21 世紀のグローバル化に向けて—」というテーマを掲げて、以下の連続セミナーを開催いたします。

開催日時

- 第 1 回 平成 9 年 6 月 13 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00
「仮想環境社会の今後」
- 第 2 回 平成 9 年 7 月 24 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00
「ネットワークコンピュータ」
- 第 3 回 平成 9 年 9 月 19 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「イントラネットの最新動向とそれを支える技術」コーディネータ: 松下 温 (慶大)
・はじめに「インターネットの拡大と社会への影響」10 : 00 ~ 10 : 30 松下 温 (慶大)
・セッション 1 「ATM と TINA の動向」10 : 30 ~ 11 : 45 井上友二 (NTT)
昼休み

・セッション 2 「CTI (Computer Telephony Integration)」13 : 00 ~ 14 : 15 正田定幸 (沖電気)
・セッション 3 「Java に期待されていること・今出来ること」14 : 30 ~ 15 : 45 井田昌之 (青山学院大)
・パネルディスカッション「イントラネットの最新動向とそれをささえる技術」16 : 00 ~ 17 : 00
司会: 松下 温 (慶大)
パネリスト: 井上友二 (NTT), 正田定幸 (沖電気), 井田昌之 (青学大)
- 第 4 回 平成 9 年 12 月 5 日 (金) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「ネットワークとセキュリティ」コーディネータ: 苗村健司 (慶大)
- 第 5 回 平成 10 年 1 月 19 日 (月) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「デジタル図書館」コーディネータ: 増永良文 (図書館情報大)
- 第 6 回 平成 10 年 3 月 24 日 (火) 10 : 00 ~ 17 : 00 (予定)
「データウェアハウス」コーディネータ: 鈴木健司 (東京国際大)

会 場 工学院大学 312 教室 (東京都新宿区)

参加費 (6 回分) 本会正会員 84,000 円 非会員 105,000 円 学生 12,600 円

資 料 当日配布

定 員 250 名

申込受付 随時 (定員になり次第締め切ります)

申込方法 本号行事申込書または学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp>) に必要事項をご記入のうえ、下記申込先までお送りください。

申 込 先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F (社) 情報処理学会 事業係
e-mail: jigyo@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

行事 No. S-OS97

「コンピュータシステム・シンポジウム」参加者募集

IPSJ KAIFUKU

コンピュータシステムがマスコミュニケーションメディアとしても利用され、そのうえで、新しいシステムの需要が生まれている。このとき、システムソフトに必要とされている機能にも変化がおきている。この変化に対応するために、分散オブジェクトのチュートリアル、オペレーティングシステムの将来への提言となる講演会、さらに、最新の技術動向を議論する研究発表が将来へのアイデアの源になるのではないか。ぜひ本シンポジウムへの参加をご検討していただきたい。プログラム等の詳細は次号(10月号)本欄および<http://avenue.tutics.tut.ac.jp/OS/CS97.html>をご覧ください。

日 程 平成9年11月6日(木)・7日(金)

会 場 NTT ゆかり荘(神奈川県鎌倉市材木座) Tel(0467)22-0038 Fax(0467)25-6646

*参加申込の方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

参 加 費 会員: 29,000円, 研究会登録会員: 27,000円, 学生: 16,000円, 非会員: 37,000円
(いずれも論文集代, 宿泊費, 懇親会費込。*宿泊なしの場合は各9,000円引き)

論文集のみ 5,000円(送料, 消費税込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書により郵送, Fax または e-mail で送付のこと。

*宿泊ご希望の方は行事申込書アンケート「R:通信欄」に11月6日宿泊の旨明記ください。
(前日からの宿泊を希望される方は、前日分は会場に直接申し込んでください。)

申込締切 平成9年10月24日(金)(宿泊分は定員60名になり次第締切)

申 込 先 (社)情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

照 会 先 梅村恭司(豊橋技科大)

e-mail: umemura@tutics.tut.ac.jp Tel(0532)44-6762 Fax(0532)44-6757(学科事務室)

予定プログラム チュートリアル: Java における分散オブジェクト処理

平野 聡(電総研)

招待講演: オペレーティングシステムの将来像

坂村 健(東大)

「ウィンターワークショップ・イン・恵那(仮称)」論文・参加募集

ソフトウェア工学研究会では、1997年1月のウィンターワークショップ・イン・松山について、合宿形式の「ウィンターワークショップ・イン・恵那(仮称)」を開催することを計画しています。今回は、松山での議論の主題からさらなる議論展開が見込める「要求工学」と「新工法」から話題を選び出して、「要求工学」、「ソフトウェアアーキテクチャと新工法」、「業務コンポーネントウェア」の3つのテーマを設定しました。

参加応募に際しては、ポジションペーパーを提出していただきます。

*応募締切は1997年11月14日(金)、採否通知は1997年11月25日(火)を予定しています。

*開催日時, 場所, 各テーマの詳細, 参加費, 応募要領, ポジションペーパー送付先等の詳細は、次号(10月号)、およびWWWホームページ <http://www.noro.iq.nanzan-u.ac.jp/members/noro/sigse98ws.html> をご覧ください。

照 会 先 野呂昌満(南山大) e-mail: masami@iq.nanzan-u.ac.jp Tel(052)832-3111(ext.747) Fax(052)833-4920

「デジタル・ドキュメント・シンポジウム'98」論文募集

ーネットワークコンピューティング時代に対応したドキュメントのデジタル化ー

この数年、インターネットなどの進展により、情報化社会の一般化、国際化が急速に現実のものとなり、いまや文書の大半がデジタル手法によって生産されている。その上、データベース化などを通じた、文書の共有化によって、いま文書の生産、伝送、蓄積、検索、再利用などの国際的体系化、標準化が進みつつある。そうした国際化、普遍化により、電子商取引、部品調達や支払決済の電子化が国際的な広がりを持ちつつ、急速に進んでいる。

デジタル化は、図表、図面、音声、画像、アニメーションといったマルチメディア化と、漢字をはじめとする多言語化の二方向に拡がり、人類の多様な文化への対応を見せつつある。

このような広範囲、かつ流動的な国際環境の視点に立ち、本シンポジウムは、日本におけるデジタル・ドキュメントの目指すべき方向を総合的に検討すべく企画された。

日 程 平成 10 年 1 月 30 日 (金)
 会 場 工学院大学 (東京都新宿区) (予定)
 主 催 情報処理学会 デジタル・ドキュメント研究会
 協 賛 日本工業技術振興協会 ユーザ・ドキュメント研究部会

論文募集要綱

- トピックス
- (1) SGML/HTML/PDF/XML の実現技術／応用・利用システム
 - (2) デジタル・ドキュメントと CALS / EC / インターネット
 - (3) デジタル・ドキュメントと情報共有／情報検索／マニュアル／自然言語処理
 - (4) デジタル・ドキュメントとマルチメディア (音声／アニメーション／ユーザビリティ／インターフェース・デザイン／三次元)

応募方法 発表者氏名、所属、連絡先、題目、1000 字程度のアブストラクト (概要) を下記申込先まで e-mail, Fax, または郵便で送付ください。

スケジュール 論文 (アブストラクト) 応募締切 平成 9 年 10 月 15 日 (水)
 採否通知 平成 9 年 11 月 10 日 (月)
 カメラレディ最終論文提出締切 平成 9 年 12 月 22 日 (月)

申込／照会先 〒 632 天理市操本町 2613-1 シャープ (株) 中央研究所 特許開発室 空閑茂起
e-mail:kuga@pipt.tnr.sharp.co.jp Tel(0743)65-2173 Fax(0743)65-4773

参加費 (予定) 会員 (含協賛団体研究会) : 8,000 円 研究会登録会員 : 6,000 円 学生 : 2,000 円
非会員 : 10,000 円 (いずれも論文集代込)

「分散システム運用技術シンポジウム '98」論文募集

ここ数年でコンピュータネットワークを核とした分散システムは社会的に浸透し、その重要性は年々高まる一方である。ネットワークおよび分散システムの運用に対する新たな要求も多く、解決すべき課題は多岐にわたる。LAN 環境では、より高速、高帯域のネットワークの構築/運用や、組織内の情報基盤としてのネットワーク (Intranet など) の構築/運用方法、広域ではより高速に安定したネットワーク間接続の手法の検討が必要である。また、多くの要求を効率的に解決するような、新たなネットワーク管理及び分散システム管理の枠組みも必要である。

本シンポジウムでは、

- ・高速、高帯域ネットワークの構築/運用技術
- ・組織内で、その情報流通を支える基盤としてのネットワークを構築し、運用していく技術
- ・広域での情報の流通を、高速に、安定して行う技術
- ・高度に分散したネットワークを、より安定して運営していく技術

という各技術の現状を整理し、今後の進歩について概観する。

日 程 平成 10 年 2 月 5 日 (木) ・ 6 日 (金)
 会 場 東京工業大学 講堂
 主 催 情報処理学会 分散システム運用技術研究会

論文募集要項

対象分野を以下のように予定していますので、応募時の参考としてください。

- ・ ATM ネットワークの構築/運用技術
- ・ ATM ネットワーク上での複数プロトコルの取り扱い
- ・ 広域ネットワークの運用技術
- ・ ネットワーク管理技術
- ・ 分散エージェント技術
- ・ 組織内ネットワークの構築/運用技術
- ・ 組織内ネットワークのアプリケーション

応募方法 (1) アブストラクト (A4 判用紙 1 枚程度、投稿論文の分野も記入) に通常の研究発表申込書を添えて
 申込先まで郵送または持参してください。
 (2) 採録された場合、本論文は研究会発表形式で 6 頁とします。

スケジュール (1) 論文 (アブストラクト) 応募締切 平成 9 年 10 月 20 日 (月) 必着
 (2) 採否通知 平成 9 年 11 月 20 日 (木)
 (3) カメラレディ最終論文提出締切 平成 10 年 1 月 9 日 (金) 必着

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

参加費 (予定) 会員: 15,000 円 研究会登録会員: 10,000 円 学生: 4,000 円 非会員: 18,000 円
 (いずれも論文集代込)

「インタラクション'98」論文募集

コンピュータとネットワーク技術の進歩は、情報環境の高度化にとどまらず、人間および社会に大きな影響を与えています。「インタラクション'98」は、メディア情報処理、情報メディアと情報環境、システムとソフトウェア、さらには、社会科学、認知科学などの研究者が包括的に集うことのできる CrossCultural な「インタラクションの場」です。質の高い議論が展開され、新たなインタラクション研究の方向性が示唆されることをねらって開催いたします。

前回の「インタラクション'97」(<http://www.brl.ntt.jp/interaction97/>参照)には予想を上回る参加者があり、活発で有意義な研究交流の場となりました。また、その成果の多くが情報処理学会論文誌の「次世代ヒューマンインタフェース・インタラクション」特集号に掲載される見込みです。今回の「インタラクション'98」では、優秀な発表に対して賞の授与、ならびに情報処理学会論文誌特集号への推薦を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

日 程 平成 10 年 3 月 3 日 (火) ・ 4 日 (水)

会 場 東京大学 山上会館

主 催 情報処理学会 ヒューマンインタフェース研究会

協賛 (予定) 情報処理学会 情報メディア研究会, グループウェア研究会, コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 音楽情報科学研究会, 音声言語情報処理研究会, 電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ, 日本ソフトウェア科学会インタラクティブシステムとソフトウェア研究会

構 成 招待講演, パネルディスカッション, 一般講演, インタラクティブ発表

論文応募要項 (詳しくは HI 研究会のホームページ(<http://sighi.tsuda.ac.jp>)をご覧ください。)

対象分野 (キーワードやテーマは限定しません)

インターネット, 音声・マルチモーダル対話インタフェース, インタフェース評価とデザイン技法, ハイパーメディアとビデオインタフェース, 福祉インタフェース, エージェント, ネットワーク環境のユーザインタフェース, インタフェースデバイス

上記のテーマに限定せず、次世代インタラクションの方向付けを行う新しい技術, 方法等の提案は全て歓迎します。また、インタラクション技術の発展に役立つ, システム構築, メディア情報処理要素技術, 実践方法や評価手法などに関する多数の論文の投稿をお待ちしています。

応募方法およびスケジュール

- ◇一般講演
 - (1) 情報処理学会全国大会の書式 (A4 用紙) で 2~4 ページのアブストラクト (題名, 著者名, 所属, 住所, Tel, Fax, e-mail を記入; 図表を含む) を 5 部提出してください。
 - (2) 採録された論文については, 本論文 (研究会様式で 8 ページ) を提出してください。
 - (3) スケジュール: アブストラクト提出締切 平成 9 年 11 月 26 日 (水)
採否決定通知発送 平成 9 年 12 月 22 日 (月)
カメラレディ原稿締切 平成 10 年 1 月 30 日 (金)

◇インタラクティブ発表

- (1) 情報処理学会全国大会の書式 (A4 用紙) で 2 ページのアブストラクト (題名, 著者名, 所属, 住所, Tel, Fax, e-mail を記入; 図表を含む) を 5 部提出してください。
- (2) 採録の場合には応募アブストラクトをそのまま論文集に掲載します。
- (3) スケジュール: アブストラクト提出締切 平成 10 年 1 月 9 日 (金)
採否決定通知発送 平成 10 年 1 月 23 日 (金)

応募論文は、本シンポジウムプログラム委員会 (委員長: 上林憲行/富士ゼロックス) で審査し、採否を決定します。なお研究としては未完成であっても、システム構築事例や新しい方向を示唆する提案も採択基準に含めます。また、一般講演の中から最も優秀な論文に対して「ベストペーパー賞」を、インタラクティブ発表の中から最も優秀な発表に対して「ベストインタラクティブ発表賞」をそれぞれ表彰します。

参加費 (予定) 会員: 16,000 円, 非会員: 20,000 円 (いずれも論文集代, 懇親会費を含む)
学生: 5,000 円 (論文集代を含む) *協賛会員の方は会員扱いとします。

申込/照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail: sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

「画像の認識・理解シンポジウム (MIRU'98)」論文募集

- Meeting on Image Recognition and Understanding '98 -

第4回を迎える本シンポジウムでは、視覚関連の巨大プロジェクトの立ち上がりなどによる新しい研究分野の発生、計算機ハードの急速な進歩や社会的要請などの外的要因による既存研究分野の大幅な変革や急速な進展を踏まえ、画像の認識と理解に関する基礎理論、アルゴリズム、システムといった通常のテクニカルペーパーに加え、視覚関連の巨大プロジェクトの報告/パネル討論なども含む、広範囲の発表と活発な議論の場を提供したいと考えています。

日 程 平成10年7月29日(水)～31日(金)
 会 場 岐阜市 未来会館(岐阜城を仰ぐ金華山の麓、鶺鴒舟が浮かぶ長良川のほとり世界イベント村の一角)
 主 催 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会
 共 催 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ パターン認識・メディア理解研究専門委員会
 協 賛 映像情報メディア学会 映像情報システム研究委員会、計測自動制御学会 パターン計測部会、電気学会
 マシンビジョン活用技術調査専門委員会
 後 援 岐阜コンベンションビューロー

募集要項

テ ー マ ・実世界型情報媒介システム、分散協調視覚
 ・複合現実感応用、ITS 応用、HCI 応用
 ・産業応用、ロボットビジョン、医用画像
 ・画像認識・理解基礎理論、パターン認識基礎理論
 (領域分割法、領域表現法、物体表現法、物体認識、shape-from-x)

内 容 ・基調講演 ・招待講演 ・一般講演セッション
 ・視覚関連プロジェクト特別セッション ・一般ポスターセッション

応募方法 日本語あるいは英語で書かれたA4判6頁(図面も含む)の論文(無記名、2段組、研究会フォーマット準拠)3部に、A4判1枚の発表申込書(発表題目、発表者氏名、所属、5個程度のキーワード、連絡先の氏名、所属、〒、住所、Tel, Fax, e-mail)を添え、下記申込先までお申込みください。実行委員会において審査を行い、採否を決定いたします。

スケジュール (1) 応募締切 平成10年1月17日(土)
 (2) 採否通知 平成10年4月上旬
 (3) カメラレディ原稿締切 平成10年6月1日(月)
 (A4判6頁。ただし、10,000円のペナルティーで2頁まで超過可能)

申 込 先 (社)情報処理学会 シンポジウム係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
 e-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

親 会 先 MIRU'98 係(池内克史, 佐藤洋一, 影沢政隆, 元木恵子)
 〒106 東京都港区六本木 7-22-1
 東京大学 生産技術研究所 電子情報系(第3部) 視覚情報工学研究室
 e-mail:{ki,ysato,kagesawa,kmotoki}@iis.u-tokyo.ac.jp Tel(03)3402-6231(ext. 2324) Fax(03)3401-1433

参加費(予定) 会員: 28,000円, 学生: 10,000円, 非会員: 38,000円(いずれも論文集代込)

実行委員会

実行委員長: 長谷川純一(中京大), 末永康仁(名大)
 プログラム委員長: 山本和彦(岐阜大), 池内克史(東大)
 実行委員: 荒川賢一(NTT), 大田友一(筑波大), 角所 考(京大), 喜多伸之(電総研), 熊沢逸夫(東工大)
 全 炳東(東京商船大), 萩田紀博(NTT), 美濃導彦(京大), 森島繁生(成蹊大), 谷口倫一郎(九大)
 松山隆司(京大), 横矢直和(奈良先端大)

The Worldwide Computing and Its Applications '98

WWCA'98 (第 2 回ワールドワイドコンピューティング国際会議)
論文募集

茨城県つくば市 1998 年 3 月 2 日-5 日 (コンファレンス&ワークショップ)

Organized by 電子技術総合研究所, 情報処理学会 [予定], 電子情報通信学会 [予定]
In cooperation with Association for Computing Machinery (ACM) [予定]

Call for papers

WWCA は, ネットワークを活用するワールドワイドなソフトウェア開発と利用および関連技術に関する研究発表を目的とした国際会議です. 分散プログラミング, 分散プラットフォーム, インターネット, 分散アプリケーション等を中心テーマとします. 前回は 1997 年 3 月 10 日-11 日の 2 日間にかけてつくば市で開催され, 各国から多数の参加者を得るとともに, その発表論文は Springer 社の Lecture Notes in Computer Science (LNCS) Vol.1274 として発行されました.

論文はフルペーパー (英文, 5000 ワード程度) として募集し, 採用論文については会議での発表を行って頂くとともに前回同様 LNCS として発行する予定です. 今回は, 自由な発表と討論の場としてのワークショップも併設する計画です.

皆様ふるってご投稿いただきますよう, よろしく願いいたします.

General Chair

相磯秀夫 (慶應義塾大学)

Advisory & Organizing Chair

塚本享治 (電子技術総合研究所)

Program Co-Chairs

増永良文 (図書館情報大学)

片山卓也 (北陸先端科学技術大学院大学)

Executive Chair

田代秀一 (電子技術総合研究所)

Paper Submission

締め切り: 10 月 31 日 (必着)

事務局: wwca98-sec@etl.go.jp

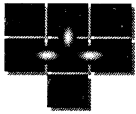
☆最新情報および詳細については

<http://ci.etl.go.jp/wwca98/> をご覧ください.

○平成 9 年度 SCAT 研究助成の募集について

電気通信分野における先端的研究支援のための研究費助成 (応募期間: 9 月 1 日~10 月 31 日), 次世代を担う若手研究者を対象とした研究奨励金 (10 月 1 日~11 月 30 日), 国際研究交流の促進をねらいとした国際会議助成 (9 月 1 日~10 月 31 日) を行っています. 応募資格等詳細は下記にお問合せください.

照会先 〒160 東京都新宿区新宿 1-20-2 小池ビル (財) テレコム先端技術研究支援センター (事業部 今村恒浩)
Tel(03)3351-8154 Fax(03)3351-1624



APCHI 98

Asia Pacific Computer Human Interaction 1998

CALL FOR PAPERS APCHI'98

Asia Pacific Computer Human Interaction 1998

<http://apchi.softlab.is.tsukuba.ac.jp>

July 15-17, 1998

Shonan Village Center, Hayama-machi, Kanagawa, Japan

The objective of APCHI'98 is to provide an international forum for scientists, engineers and computer users to exchange and share their experiences, new ideas and research results on all aspects of Human-Computer Interaction. The conference also aims to stimulate and foster interest in Human-Computer Interaction in the Asia Pacific region. The conference will bring together researchers and practitioners in the region who are involved in the analysis, design and development of interactive computer-based systems.

APCHI'98 will be held at Shonan Village Center. Shonan Village Center is located at Hayama-machi, Kanagawa, Japan, which is on the Tokyo urban seaside. It is the successor of APCHI'96 (Singapore) and APCHI'97 (Sydney, Australia) jointly held with INTERACT'97.

Conference Topics

Applications: groupwork and groupware (CSCW, CSCL); telecommunications; consumer products; offices; education; libraries; process control; arts and media; interactive entertainment; people with special needs

Usability and Evaluation: usability engineering; usability testing; task and user modelling; cognitive models; psychology of design; learning and performance; interaction models; agents; children; metrics.

Interfaces, Tools and Architectures:

World Wide Web; internet; multi-modal communications, hypertext; hypermedia; multi-media; 3-D interfaces; visual programming; animation; visualization; virtual reality; ubiquitous computing; real world computing; portable user interfaces; design environments; UIMS; programming by demonstration; new or emerging technologies

Development Issues: requirements and

task analysis; prototyping; user participation; participatory design; dialogue design; standards and guidelines; work practices; formal methods; notations; cross cultural issues; global interface; social and political issues; implementation and management issues.

Important Dates:

Paper Submission:	Jan 31, 1998
Notification:	Mar 31, 1998
Final Version:	Apr 30, 1998
Main Conference:	Jul 15-17, 1998

Paper Submission Guidelines:

There are two types of papers: full papers (not exceeding 4000 words) and technical notes (not exceeding 2000 words). Authors are encouraged to submit their papers electronically by **January 31, 1998** to "apchi@softlab.is.tsukuba.ac.jp".

Submissions should contain the type of the paper, a title, author names, a 200 word abstract, a list of key words (picked up from the conference topics), the corresponding address (contact author's name, postal address, email address, phone number and facsimile number), and the postscript version (compressed and uuencoded) of the manuscript. Papers will be evaluated for originality, significance and soundness. Authors of accepted papers will be required to submit their final camera-ready papers, following IEEE Computer Society Press format. The proceedings of APCHI'98 will be published from IEEE Computer Society Press. Authors are expected to present papers at the conference, when accepted. Authors unable to submit electronically are invited to send 6 copies of a paper to:

Jiro Tanaka,
APCHI'98 Program Chair.,
Inst. of Infor. Sci. & Elec., University of Tsukuba,
Tsukuba, Ibaraki 305, Japan
phone: +81-298-53-5343, fax: +81-298-53-5206
email: jiro@is.tsukuba.ac.jp

APCHI'98 is sponsored by

Information Processing Society of Japan

in cooperation with

ACM Japan Chapter
British HCI Group (U.K.)
CHISIGNZ (New Zealand)
The Graduate University for Advanced Studies (Japan)
Information Technology Institute (Singapore)
The Institute of Electronics, Information
and Communication Engineers (Japan)
International Federation for Information Processing (IFIP)
Japanese Psychological Association
Japanese Society for Artificial Intelligence
Japan Society for Software Science and Technology
Japanese Society for Science of Design
Japanese Cognitive Society
Southeast Asian Ergonomics Society (SEAES)
(Malaysia)
Universiti Malaysia Sarawak (Malaysia)

Conference Chair: Masaaki Kurosu, Shizuoka Univ.
Conference Vice Chairs: Jun Munemori, Osaka Univ.;
Yoichi Takebayashi, Toshiba; Aki Takeuchi, Sony; Hiro-
tada Ueda, Hitachi Denshi;
Program Chair: Jiro Tanaka, Univ. of Tsukuba
Treasurer: Ken-ichi Okada, Keio Univ.
Conference Administration: Masaki Nakagawa (Chair),
Tokyo Univ. of Agri. & Tech.; Yukiko Abe, Life Design
Institute; Makoto Hirose, Fuji Xerox; John Itoh, Ricoh;
Nobuko Kishi, Tsuda College; Eiji Kuwana, NTT; Yasushi
Nakauchi, National Defense Academy
International Liason: Kumiyo Nakakoji, SRA Inc. & NAIST
Publications: Toshihiko Yamakami, NTT

Program Committee:

Jiro Tanaka (Chair), Japan
Sandrine Balbo, Australia
Sarah Bloomer, Australia
John M. Carroll, USA
Frank S. Cheng, USA
Andy Cockburn,
New Zealand
Kevin Cox, Hong Kong
Jim Dooling, USA
Xiaolan Fu, China
Jonathan Grudin, USA
Judy Hammond, Australia
Yoshinori Hara, USA
Linda Herman, Singapore
Masahito Hirokawa, Japan
Makoto Hirose, Japan
Steve Howard, Australia
Hiroshi Ishii, USA
Noriyuki Kamibayashi,
Japan
Halimahtun Mohd Khalid,
Malaysia
Jinwoo Kim, Korea
Nobuko Kishi, Japan
Eiji Kuwana, Japan
Masaaki Kurosu, Japan
John C.M. Lee, Hong Kong
John Long, UK
Allan MacLean, UK
Aura C. Matias, Philippines
Kenji Mase, Japan
Toshiyuki Masui, Japan
Satoshi Matsuoka, Japan
Jackie Moyes, Singapore
Jun Munemori, Japan
Masaki Nakagawa, Japan
Kumiyo Nakakoji, Japan
Yasushi Nakauchi, Japan
Kazuhisa Niki, Japan
Shogo Nishida, Japan
Sadao Obana, Japan
Ken-ichi Okada, Japan
Akira Okamoto, Japan
Gary Olson, USA
Judy Olson, USA
Rikio Onai, Japan
Jonathan Ostwald, USA
Thiagarajan Palanivel, USA
Chris Phillips, New Zealand
Junichi Rekimoto, Japan
Shiro Sakata, Japan
Gavriel Salvendy, USA
Keiichi Sato, Japan
Paulien Strijland, USA
Tamara Sumner, UK
Kenji Takahashi, Japan
Yoichi Takebayashi, Japan
Aki Takeuchi, Japan
Yuzuru Tanaka, Japan
Hiroyuki Tarumi, Japan
Hirotada Ueda, Japan
Kwangyun Wahn, Korea
Toshihiko Yamakami, Japan
Toshiki Yamaoka, Japan
Michiaki Yasumura, Japan
Leung Ying K, Australia
Lim Kee Yong, Singapore
Kan Zhang, China

○主催 情報処理振興事業協会 (IPA)

第16回IPA技術発表会

○協賛 情報処理学会 日本ソフトウェア科学会 電子情報通信学会

ごあいさつ

情報処理振興事業協会 (IPA) では技術センターを中心に各分野におけるご専門の方々のご協力を戴き、先進的な情報処理技術に関する各種の研究開発を行い、毎年秋に技術発表会を開催してその成果を皆様方にご報告しております。

この度、第16回技術発表会をご案内の通り開催することになりましたので多数ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

情報処理振興事業協会

- 期 日：平成9年10月30日(木)～31日(金)
- 会 場：虎ノ門バストラル (地下鉄神谷町駅下車 5分)
- 参加費：無料 (事前申込必要)
- 定 員：500名 (定員になり次第締切らせて戴きます)
- 申込締切日：平成9年10月17日(金)
- 申込方法：記載の参加申込書に記入の上、FAXでお送り下さい。到着次第、参加券・資料引換券をお送り致します。(インターネットでも取り扱いあります。
<http://www.ipa.go.jp/SYMPO/SYMP097/>)

【第1日目】 平成9年10月30日(木)

【第2日目】 平成9年10月31日(金)

<p>第一会場 (1階 鳳凰の間)</p> <p>開 場 9:00</p> <p>挨拶 9:30 情報処理振興事業協会 理事長 石井賢吾</p> <p>来賓挨拶 9:40 通商産業省 情報処理振興課</p> <p>特別講演 9:50～10:50</p> <p>「文明構造の変容と情報セキュリティ」 中央大学理工学部情報工学科 教授 辻井重男</p>		<p>パネリストディスカッション 14:10～16:25</p> <p>「マルチリンガル情報処理技術の展望」</p> <p>コーディネータ：電総研情報アーキテクチャ部 主任研究官 戸村 哲</p> <p>パネラー：慶應義塾大学 教授 石崎 俊</p> <p>オムロン株式会社 係長 桑理聖二</p> <p>株式会社ジャストシステム ティルケ 小林龍生</p> <p>中西印刷株式会社 専務取締役 中西秀彦</p> <p>長岡技術科学大学 教授 三上喜貴</p> <p>IPA技術センター 研究員 桑畑和佳子</p>
<p>第二会場 (5階 蘭の間)</p> <p>司会：新潟工科大学 情報電子工学科 教授 青山幹雄</p> <p>研究発表 11:00～11:40</p> <p>○ソフトウェアモジュールによるシステム設計の手法とツールの研究 (財) 京都高度技術研究所 第2室長 神原弘之</p> <p>休 息 11:40～13:00 (80分間)</p> <p>研究発表 13:00～13:40</p> <p>○ソフトウェア要求分析法とWWW上に構築するその支援環境の研究 IPA技術センター 研究員 古宮誠一</p> <p>研究発表 13:50～14:30</p> <p>○開放型計算環境におけるコーディネーション・宣言型プログラミング 筑波大学 電子・情報工学系 教授 井田哲雄</p> <p>休 息 14:30～15:00 (30分間)</p> <p>司会：筑波大学 電子・情報工学系 教授 井田哲雄</p> <p>研究発表 15:00～15:40</p> <p>○実行可能な形式仕様言語システムCafeOBJの研究開発 IPA技術センター 研究員 井上 直</p> <p>研究発表 15:50～16:30</p> <p>○オブジェクトの組織化と進化に関する研究 (株) SRA 主任 友枝 敦</p>		<p>司会：(株) コムニク創研 テクニカルコンサルタント 加藤潤三</p> <p>研究発表 10:00～10:40</p> <p>○計算機用日本語辞書IPAの調査研究 IPA技術センター 研究員 橋本三奈子・桑畑和佳子</p> <p>研究発表 10:50～11:30</p> <p>○モバイルコンピュータのための動的適応可能なソフトウェアアーキテクチャ 北陸先端科学技術大学院大学 助教授 中島達夫</p> <p>休 息 11:30～12:50 (80分間)</p> <p>研究発表 12:50～13:30</p> <p>○協調能動的ハイパーメディア個別化支援環境の研究開発 京都大学大学院工学研究科 教授 上林弥彦</p>
<p>第五会場 (5階 桔梗の間)</p> <p>司会：NTTソフトウェア(株) 取締役 細谷僚一</p> <p>研究発表 11:00～11:40</p> <p>○広域分散ソフトウェア生産技術開発 プロジェクト指向によるソフトウェア生産技術開発 (株)情報技術コンソシアム 研究開発リーダー 吉多誠児・村田孝志</p> <p>休 息 11:40～13:00 (80分間)</p> <p>研究発表 13:00～13:40</p> <p>○組織間網環境におけるアクセス制御の研究 IPA技術センター 研究員 寺田真敏</p> <p>研究発表 13:50～14:30</p> <p>○エージェントを応用したネットワークセキュリティ技術の研究 IPA技術センター 研究員 浅香 緑</p> <p>休 息 14:30～15:00 (30分間)</p> <p>司会：NTT情報通信研究所 岡本龍明</p> <p>研究発表 15:00～15:40</p> <p>○コンピュータウイルスの現状とインテグリティ法を中心としたコンピュータウイルス対策システム IPA技術センター 研究員 望月和広・立花 崇</p> <p>研究発表 15:50～16:30</p> <p>○インターネットにおけるブラウザ技術構築と適用に関する研究開発 横浜国立大学 助教授 松本 勉</p>		<p>司会：(株) 富士通研 マルメディア研究所 所長 林 弘</p> <p>研究発表 10:00～10:40</p> <p>○日常生活における創造的活動支援マルチメディアシステムの研究開発 IPA技術センター 研究員 大倉信郎</p> <p>研究発表 10:50～11:30</p> <p>○感性擬人化エージェントのための顔情報処理システムの開発 東京大学工学部 教授 原島 博</p> <p>休 息 11:30～12:50 (80分間)</p> <p>研究発表 12:50～13:30</p> <p>○ヒューマンベースドエージェントに基づく高精細カラーマネジメントシステムの開発 千葉大学工学部 教授 三宅洋一</p>

【第1日目】 平成9年10月30日(木)

【第2日目】 平成9年10月31日(金)

第六会場 (6階 桃の間) 司会: (株) ソニーコンピュータサイエンス研究所 司会者 大沢英一 研究発表 11:00~11:40 ○エージェント指向言語Flageのイントラネット応用 I P A新ソフトウェア構造化技術研究本部 研究員 佐藤仁孝 休憩 11:40~13:00 (80分間) 研究発表 13:00~13:40 ○エージェント指向情報共有ベース 慶應義塾大学 理工学研究科 佐々木貴宏 研究発表 13:50~14:30 ○オブジェクト指向分散処理環境 電子技術総合研究所分散システム研究室 室長 塚本享治、他 休憩 14:30~15:00 (30分間) 司会: 広島市立大学情報科学部 講師 村山優子 研究発表 15:00~15:40 ○マルチメディア統合環境基盤ソフトウェア 慶應義塾大学 教授 徳田英幸・助手 西尾信彦 研究発表 15:50~16:30 ○オープンシステム準拠テスト技術 (株) 管理工学研究所 研究員 大林正晴		司会: (株) 東芝 マルチメディア研究所 所長 渡辺貞一 研究発表 10:00~10:40 ○並列オブジェクト指向言語の汎用高並列計算機向け処理系の開発とその応用実証プログラムによる評価 東京大学大学院理学系研究科 助手 田浦健次朗 (株) 三菱総研 室長 市吉伸行・室長代理 比屋根一雄 研究発表 10:50~11:30 ○メタコンピュータのための分散・並列化コンパイラの開発 早稲田大学理工学部 教授 村岡洋一 休憩 11:30~12:50 (80分間) 研究発表 12:50~13:30 ○汎用超並列ハードウェアシステムカーネルSSS-COREの研究 東京大学 教授 平木 敬・助手 松本 尚	
第三会場 (5階 菊の間) 10月30日(木) 11:00~17:00		10月31日(金) 10:00~14:00	
○デモンストレーション (研究発表直後のデモ実演時間) ・ソフトコアプロセッサによるシステム設計の手法とツールの研究..... (10月30日(木) 11:50~12:10) ・ソフトウェア要求分析法とWWW上に構築するための支援環境の研究..... (10月30日(木) 13:50~14:10) ・実行可能な形式仕様言語システムCafeOBJの研究開発..... (10月30日(木) 15:50~16:10) ・計算機用日本語辞書IPALの調査研究..... (10月31日(金) 10:50~11:10)			
第四会場 (5階 牡丹の間) 10月30日(木) 11:00~17:00		10月31日(金) 10:00~14:00	
○デモンストレーション (研究発表直後のデモ実演時間) ・組織間ネットワークにおけるアクセス制御の研究..... (10月30日(木) 13:50~14:10) ・コンピュータウイルスの現状とインテグリティ法を中心としたコンピュータウイルス対策システム..... (10月30日(木) 15:50~16:10) ・日常生活における創造的活動支援マルチメディアシステムの研究開発..... (10月31日(金) 10:50~11:10)			
第七会場 (6階 橘の間) 10月30日(木) 11:00~17:00		10月31日(金) 10:00~14:00	
○デモンストレーション (研究発表直後のデモ実演時間) ・エージェント指向言語Flageのイントラネット応用..... (10月30日(木) 11:50~12:10) ・エージェント指向情報共有ベース..... (10月30日(木) 13:50~14:10) ・並列オブジェクト指向言語の汎用高並列計算機向け処理系の開発とその応用実証プログラムによる評価..... (10月31日(金) 10:50~11:10) ・メタコンピュータのための分散・並列化コンパイラの開発..... (10月31日(金) 11:40~12:00)			
第八会場 (6階 藤の間) 10月30日(木) 11:00~17:00		10月31日(金) 10:00~14:00	
○ポスター展示 ・日本語ディクテーション基本ソフトウェアの開発..... 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科、他 ・話題関連性に基づく情報検索手法を実装したニュースリーダーの開発..... (株) 東洋情報システム、他 ・インターネットオリエンテーリング可能な地図構成法に関する研究..... NTTデータ通信(株)、他 ・画像データを利用する秘密情報の非可視化技術の研究..... 九州工業大学 河口研究室、他 ・ウェブレットに基づく実時間カラー画像照合検索システムの開発..... 九州大学 新島研究室、他 ・著作権処理システムの研究..... I P A技術センター、他 ・LispのISO標準規格ISLispの処理系の研究開発..... 京都大学 湯浅研究室、他 ・計算機用日本語生成辞書IPAL(SURFACE/DEEP)の研究..... 帝京平成大学 村田研究室、他			

FAX 03-3437-9421 情報処理振興事業協会 技術センター 企画室 行

第16回 I P A 技術発表会 参加申込書

■参加ご希望日の一つだけ○で囲んで下さい 30日(木)、31日(金)、両日共		所在地 〒	
■問い合わせ先 〒105 東京都港区芝公園三丁目1番38号 秀和芝公園三丁目ビル 6階 情報処理振興事業協会 技術センター 企画室 TEL 03-3437-2301(代表)		会社・団体名 (正式名) 所属・役職名 ふりがな 参加者名	
I P A記入欄 ※ 受付 月 日 扱い		ID記号 AN	ふりがな 連絡先担当者名 TEL FAX

* 太枠内を全て記入願います。(申込書はお1人様1枚にてお書き下さい)

情報処理学会論文誌「並列処理」特集への論文投稿のご案内

論文誌「並列処理特集号」編集委員会
委員長 佐藤三久

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「並列処理」をテーマに特集号を企画しております。

近年並列処理の研究が盛んであり、アーキテクチャ / OS / 言語 / 応用などを考えてみると情報工学の研究分野の多岐に渡る分野にて研究がなされています。そこで、これに関連した研究者の方々に対して、並列処理の理論・実践・応用をテーマとした論文を広く募集いたします。

今年も並列処理の理論・実践・応用をテーマに並列処理シンポジウム JSPP97 が開催されました。JSPP97 をはじめ当学会の研究会・シンポジウム・ワークショップ等で発表された方々はもちろん、そうでない方々も奮ってご投稿下さい。

なお今回は、論文誌編集の新しい制度である「ゲストエディタ制度」を用います。

投 稿 要 領

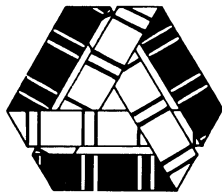
論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。論文投稿規約は「情報処理」平成 9 年 6 月号に掲載されています。

査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一です。

投稿締切 平成 9 年 10 月 31 日 (金)
投稿論文には、「並列処理」特集と朱書して下さい。

特集号予定 平成 10 年 6 月

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です (* : 本年既掲載分, ** : 昨年既掲載分)。会議の詳細を知りたい方は、学会国際係へ切手 90 円を同封のうえ、請求ください。(国内連絡先が記載されている場合は除く。) ○ : 本会主催・共催 ◆ : 本会協賛

- | |
|------------------------|
| 1.開催日 2.会場 3.照会先 4.その他 |
|------------------------|

【国際会議】

◆ First International Workshop on Cooperative Distributed Vision (7029)

1.1997 年 10 月 17 日 (金)・18 日 (土) 2.京大会館 (京都市左京区) 3.和田俊和 (京大工学研究科電子通信工学専攻)
Tel(075)753-3327 Fax(075)753-5058 e-mail: twada@kuee.kyoto-u.ac.jp http://vision.kuee.kyoto-u.ac.jp/CDVPRJ

Higher Education in the 21st Century - Bringing Today's Education into the Hi-Tech World of Tomorrow (7030)

1.1997 年 11 月 11 日 (火) ~ 12 日 (水) 2.文部省メディア教育開発センター (千葉市美浜区) 3.メディア教育開発センター
Tel(043)298-3085 Fax298-3476 http://www.nime.ac.jp/

Workshop on Interactive Systems and Software'97 (WISS'97) (7031)

1.1997 年 12 月 3 日 (水) ~ 5 日 (金) 2.賢島研修センター (三重県志摩郡) 3.日本ソフトウェア科学会 Tel(03)5802-2060
Fax(03)5802-3007, 論文投稿: 尾内理紀夫 (RWC) Tel(0298)53-1672 Fax(0298)53-1640 e-mail: onai@trc.rwcp.or.jp, 参加申込: 魚井宏高 (阪大) Tel(06)850-6596 Fax(06)850-6599 e-mail: uoi@ics.es.osaka-u.ac.jp

CEReS 国際シンポジウム「衛星データの地球補正とその地球環境への応用」(7032)

1.1998 年 1 月 21 日 (水) ~ 23 日 (金) (日程変更) 2.千葉大けやき会館 (千葉市稲毛区) 3.竹内延夫 (千葉大)
Tel(043)290-3849 Fax290-3857 e-mail: takeuchi@rsirc.cr.chiba-u.ac.jp

当学会の出版物の著作権の取扱いについて

情報処理学会発行の学会誌「情報処理」、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、全国大会講演論文集、シンポジウム論文集および学会単独主催の国際会議 Proceedings に掲載された論文等の著作権の取扱いについては、次のとおりとなっておりますのでご了承ください。

1. 著作権の帰属

- (1) 標記学会出版物に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議の上措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
 - ・依頼論文等であって、その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので、著作権の本会への移転帰属に關し当該法人等の了解が得られない場合。
 - ・特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

2. 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが、著作者人格権は著者に帰属する。ただし、著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに對し、本学会はこれに異議申立て、もしくは妨げることをしない。この場合著者は本学会に申し出を行い、また利用された複製物あるいは著作物中に出典を明記すること。
- (2) 本学会は論文等の複製をおこなうことができる。ただし、この場合關係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合、本学会は理事会において審議し、適当と認められたものについては要望に応ずることができる。ただしこの場合關係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって、第三者から本学会に對価の支払があった場合には關係する著者に報告の上、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

3. 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆にあたっては他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないよう充分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内等）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲 載 料 金（消費税別）
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワーク ショップ，講演会，講習会等の論 文募集・参加者募集に限る。	1 ページ または 1 / 2 ページ	(共催) 1 ページ 50,000 円 1 / 2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1 / 2 ページ 50,000 円
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機 関，賛助会員の人材募集	10 行程度	(国公立教育機関，国公立研究機関) 20,000 円 (賛助会員（企業）) 30,000 円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先等を記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

*なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

3. 原稿の書き方

行事次第書：原則として B5 判カメラレディとします。B5 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシック等）については，本会会告記載内容をご参照願います。なお，フロッピィディスクまたは e-mail でも受け付けますので，ご相談ください。

人 材 募 集：求人側の必要事項を明記し，e-mail または FAX，郵送にてお送りください。

4. 申込期限

毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

6. 掲載申込先

〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

(社) 情報処理学会 有料会告係

e-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

会費・購読費の預金口座（銀行・金庫）自動振替のご利用について

ご希望の方は、下記記載事項をご参照のうえ、お申し込みください。

現在、すでにご利用いただいている方で、口座を変更する際にも同様の手続きとなります。

なお、新入会時の入会金・会費・購読費にはご利用できませんが、翌年度会費・購読費から取扱いますので、入会手続きの際に同時にお申し込みください。

記

1. 対象会員：個人会員（一括扱い会員は除く）
2. 対象金融機関：都市銀行，地方銀行，信託銀行，長期信用銀行，信用金庫，労働金庫（信用組合，農協は除きます）
*郵便局の口座自動振替をご希望の方は，郵便局備付の「自動振込利用申込書」をご利用ください。
記入法等詳細につきましては6月号（Vol.38, No.6 会告 31 頁）をご参照いただくか，下記照会先にお問い合わせください。
3. 口座振替費目：会費・論文誌購読費
4. 申込方法：「預金口座振替依頼書」にご記入のうえ下記申込み先まで郵送してください。
5. 振替日：3月または7月の27日（休日の場合は翌営業日）に年額を振替えさせていただきます。
6. 依頼書の記入要領
 - (1) 口座名義人：預金通帳の名義人です（フリガナもご記入ください）。
 - (2) 銀行への：預金通帳とご照合のうえ，鮮明にご捺印ください。また，捺印を必ずご捺印ください。
お届け印
 - (3) 会員番号：会員番号（学会誌送付用包装フィルムの宛名ラベルに記載）および会員氏名をご記入ください。
会員氏名
 - (4) 指定口座：金融機関名，支店名，店番号，種目（普通／当座），口座番号等は，必ず預金通帳にてご確認のうえご記入ください。
7. 預金通帳の摘要欄：「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。
8. 口座振替のご案内：毎年1月上旬に振替の案内を発送いたします。口座自動振替を中止される場合はすみやかに下記照会先までご連絡ください。
9. 申込み／照会先：（社）情報処理学会 会員係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

預金口座振替依頼書

銀行 御中
金庫

平成 年 月 日

収納代行会社名：ダイヤモンドファクター株式会社
委託者名：社団法人 情報処理学会

料金等の種類：会費・購読費

委託者
番号

0 3 4 5 0

契約者
番号

0 1 5

ご指定口座（記入要領によりご記入ください）

(左つめで記入し、濁点、半濁点は1字分に扱ってください。なお、個人名義の場合、姓と名の間は1字空けてください)

フリガナ

口座名義人 印 銀行へのお届け印

会員番号 会員氏名

指定 口座	銀行 金庫			本店 支店
	銀行 <input type="text"/>	店番号 <input type="text"/>	預金種目 1. 普通 2. 当座	口座番号 <input type="text"/>

振替日：収納企業の指定する日（銀行休業日の場合は翌営業日）

私は上記の料金等を預金口座振替の方法により収納代行会社ダイヤモンドファクター株式会社を通じて支払うこととしましたので、下記事項を承認のうえ上記口座からの振替を依頼します。



記

- ダイヤモンドファクター（株）より貴行（金庫・組合）に請求書が送付されたときは、振替日に私あてに通知することなく、請求書記載金額を預金口座から引落しのうえお支払いください。この場合、預金規定または当座勘定規定にかかわらず、預金通帳・同払戻請求書の提出または小切手の提出はしません。
- 振替日において、請求書記載金額が預金口座から払い戻すことのできる金額をこえるときは、私に通知することなく請求書を返却されても差し支えありません。
- この預金口座振替契約は貴行（金庫・組合）が必要と認めた場合は私に通知することなく解約されても異議ありません。
- この預金口座振替についてかりに疑義が生じても、貴行（金庫・組合）の責によるものを除き、貴行（金庫・組合）にはご迷惑をかけません。

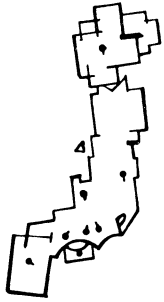
金融機関使用欄

口座振替依頼書に不備がございましたら下記へご返却ください。

返却理由	1. 預金取引なし	4. その他
	2. 記載事項等相違 (店名, 預金種目, 口座番号, 口座名義)	()
	3. 印鑑相違	()

照 合	受 付	

支部だより



情報処理学会支部連絡先

北海道支部 〒 060 北海道札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学工学部情報工学科内
e-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819 Fax(011)706-6819

東北支部 〒 982 宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1 東北工業大学通信工学科内
e-mail:mkojima@titan.tohtech.ac.jp Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部 〒 460 愛知県名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内
e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521

北陸支部 〒 921 石川県石川郡野々市町扇が丘 7-1 金沢工業大学内
e-mail:abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(0762)94-6708 Fax(0762)94-6709

関西支部 〒 530 大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第 1 ビル 8F (財)関西情報センター内
e-mail:infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部 〒 733 広島県広島市西区商工センター 2-6-1 NTT コミュニケーションウェア(株)中国支社事業推進担当内
e-mail:kamura@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)278-7902 Fax(082)501-0472

四国支部 〒 790-77 愛媛県松山市文京町 3 愛媛大学工学部内
e-mail:yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963 Fax(089)927-9973

九州支部 〒 812 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル
NTT データ通信(株)九州支社総務担当内
e-mail:murakami@csce.kyushu-u.ac.jp Tel(092)475-5123 Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は <http://www.ipsj.or.jp> からリンクしています。

東北支部 WWW 情報サービスのお知らせ

東北支部のホームページは、1997年7月4日より下記の URL アドレスにて公開しております。どうぞご利用ください。
<http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/>

東海支部 講演会

日時 平成9年10月31日(金) 13:30 ~ 16:00
会場 名古屋大学 工学部 8 号北館 102 講義室 (情報工学専攻講義室)
演題 並列処理の課題と展望
講師 中島 浩氏 (豊橋技術科学大学情報工学系教授, 情報処理学会アーキテクチャ研究会主査)
参加費 無料 (参加資格は問いません)
照会先 〒 464-01 愛知県名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院 工学研究科情報工学専攻
高木直史 Tel(052)789-3312 Fax(052)789-3798

東海支部 「センサの基礎と応用」専門講習会

日時 平成9年11月6日(木) 10:15 ~ 16:50
11月7日(金) 9:30 ~ 16:00
会場 名古屋通信ビル ホール (名古屋市中区千代田 2-15-18 Tel(052)263-5220)

演題/講師

総論	毛利佳年雄 (名古屋大学)
誘電体センサ	塩川 祥子 (静岡大学)
視覚センサ	末松 良一 (名古屋大学)
シリコン圧力センサ	杉山 進 (立命館大学)
マイクロ磁気センサ	内山 剛 (名古屋大学)
自動車用半導体センサ	鈴木 康利 (デンソー)
非破壊検査技術	黒川 政秋 (三菱重工)
道路交通システム分野におけるセンサシステム	金山 憲司 (オムロン)
住環境におけるセンシングシステム	吉池 信幸 (松下電器)

参加費 正会員 10,000 円 (学会員割引含む, テキスト代含む)
準員・学生員 5,000 円 (同上)
会員外 15,000 円 (テキスト代含む)

- 申込方法** 葉書または Fax で、以下の問い合わせ先まで申込む。
 記入事項：住所、氏名、勤務先、電話番号、所属学会協会名
 締切：10月15日(水)
- 申込/照会先** 〒464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内
 電気学会東海支部「専門講習会」担当 永津雅章 Tel(052)789-4422 Fax(052)789-3138
- 主催** 電気学会東海支部 共催 情報処理学会東海支部他

東海支部 見学会

- 日時** 平成9年11月12日(水)
- 見学先** 富士通(株) 沼津工場
- 集合場所** 名古屋駅(7:45)または三島駅(9:55)
- 参加資格** 情報処理学会東海支部会員に限る。
- 参加費** 1,200円程度(昼食代、当日集めます)
- 定員** 30名(先着順)(名古屋20名・三島10名予定)
- 申込方法** ハガキまたは電子メールで「富士通見学会申込み」と記入し、(1)会員番号、(2)氏名、(3)勤務先・所属(役職)、(4)連絡先住所・電話番号・Faxを明記のうえ、下記宛にお申し込み下さい。折り返しFaxまたは電子メールにて参加証をお送りします。(Faxのない場合は往復ハガキでお申込下さい。)
- 申込締切** 10月30日(木)必着
- 申込/照会先** 〒460 名古屋市中区錦2-17-21 NTTDATA 東銀ビル NTTデータ通信(株)東海支社内
 情報処理学会東海支部事務局 e-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517 Fax(052)204-4521
- (注意)上記は計画であり、変更することもあります。詳細については、来月号・支部ホームページにてお知らせします。

北陸支部 講演会

- 日時** 平成9年10月27日(月) 14:30~16:00
- 会場** (株)インテック タワー111ビル21F(富山県富山市牛島新町5-5)
- 演題** Javaを簡単に分散実行する HORB
- 講師** 電子技術総合研究所情報アーキテクチャ部 主任研究官 平野 聡氏
- 参加費** 無料(参加資格は問いません)
- 照会先** 〒921 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学人間情報経営系内
 情報処理学会北陸支部事務局 阿部 Tel(076)294-6708
 または 〒930 富山県富山市下新町3-23
 (株)インテックシステム研究所情報応用研究部 河崎 Tel(0764)44-8088

北陸支部 講演会

- 日時** 平成9年11月10日(月) 15:00~17:00
- 会場** 石川厚生年金会館
- 演題** 音声処理技術の展開
- 講師** 名古屋大学電子情報学専攻情報変換工学講座 助教授 武田一哉氏
- 参加費** 無料(参加資格は問いません)
- 照会先** 〒921 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学人間情報経営系内
 情報処理学会北陸支部事務局 阿部 Tel(076)294-6708
 または 〒920 石川県金沢市幸町3-35
 (株)沖北陸システム開発事業推進部 川畑 Tel(076)231-1448

関西支部 平成9年電気関係学会関西支部連合大会開催のご案内

日時 平成9年11月23日(日・祝), 24日(月・振替休日)
 会場 関西大学千里山キャンパス 第四学舎(工学部)2号館(〒564-80 吹田市山手町3-3-35)
 交通機関 阪急千里線, 関大前駅下車, 徒歩10分
 特別講演 11月23日13:30~15:20 千里山キャンパス100周年記念会館ホール1
 「創造と開発—パワーエレクトロニクスから超電導まで—」 平根喜久(関西大学)
 「人間情報処理の科学と技術」 赤松 茂(ATR)

パネルディスカッション

テーマ: 「21世紀の日本の先端技術開発のあり方」
 日時: 11月23日(日・祝)15:40~17:40
 会場: 千里山キャンパス100周年記念会館ホール1
 司会: 小山正樹(奈良先端科学技術大学院大学)
 パネリスト(順不同): 下條真司(大阪大学), 藤島 実(東京大学), 松本時和(松下電器産業), 山林由明(NTT光ネットワークシステム研究所)

(シンポジウムおよび一般講演は11月23日午前および24日午前・午後に行います。各部門題目については、本学会誌7月号をご参照下さい。なお、未定であったS11の題目は「災害と照明」と決まっております。)

大会参加費 正会員1,500円, 准員・学生員1,000円, 留学生500円, 非会員2,000円
 (大会参加章のない方は入場の際, 受付で大会参加費を納めてください)

懇親会 11月23日(日・祝)18:00~19:30 千里山キャンパス100周年記念会館ホール2
 会費3,500円

講演論文集 3,000円(10月下旬刷上がり予定)。予約は郵便振替による送金をもって受け付け、大会当日会場受付でお渡しいたします。予約希望者は通信欄に冊数・代金(一冊につき3,000円)を明記して、10月31日までに実行委員会までご送金下さい。なお、領収書は受付郵便局の受領票をもって代えさせていただきます。

連絡先 〒564-80 吹田市山手町3-3-35 関西大学工学部電気工学科内
 平成9年電気関係学会関西支部連合大会実行委員会 原 武久 Tel(06)368-0911
 郵便振替口座: 00910-1-104680 電気関係学会関西支部連合大会実行委員会

主催 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会・照明学会・映像情報メディア学会・日本音響学会各関西支部

中国支部 平成9年度電気・情報関連学会中国支部連合大会開催のお知らせ

日時 平成9年10月25日(土)9:00~17:45
 会場 広島大学東広島キャンパス 〒739 東広島市鏡山1丁目4-1
 主催 電気・情報関連学会中国支部連合大会
 (電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会, 情報処理学会)

特別講演 日時: 10月25日(土)16:30~17:45
 会場: 広島大学工学部218号室
 演題: 「角筆研究の新展開」

講師: 広島大学文学部教授 位藤邦生氏

懇親会 日時: 10月25日(土)18:30~20:30
 会場: 総合結婚式場つるかめ Tel(0824)22-2011
 会費: 一般4,000円, 学生2,000円(会費は当日受付にてお支払い下さい)

昼食 8時30分から14時まで東福利会館の食堂, あるいは10時30分から13時30分まで北第一福利会館の食堂がご利用いただけます。なお、今年は弁当の予約販売は行いませんのでご了承願います。

懇親会申込方法 10月17日(金)までに、申込者連絡先(氏名, Tel, Fax, e-mail)および参加者氏名を、直接下記申込先宛にご連絡下さい。なお、e-mailでお申し込みの方には、受信した旨の確認メールを返信(10月1日以降)いたします。

懇親会申込先 〒739 東広島市鏡山1丁目4-1 広島大学工学部第二類 雑元孝夫
 e-mail: hinamoto@ecl.sys.hiroshima-u.ac.jp Tel(0824)24-7672 Fax(0824)22-7195

交通案内 JR 新幹線利用の場合: 東広島駅下車, タクシーにて約15分, 料金1,500円程度

JR 山陽本線利用の場合：西条駅下車，路線バス（西条駅－広島大学）にて大学会館前または広大東口下車（所要時間約 20 分），徒歩 2 分

その他交通手段等の詳細については，電子情報通信学会中国支部のホームページ (<http://www.ieice.or.jp/chugoku>)でご案内いたします。

照会先 〒730 広島市中区基町 6-77 NTT 中国支社内 電子情報通信学会中国支部事務局 吉岡 実
e-mail:ieiccgk@rhqs.cgk.ntt.co.jp Tel(082)226-2140 Fax(082)502-1024

学会誌表紙デザイン募集

学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では読者の方々にとってより親しみやすく，また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し，来年度に向けて学会誌の大幅な刷新を計画しております。これにともない来年 1 月号より学会誌の判型を A4 判に変更する準備をすすめております。

つきましては，新学会誌にふさわしい表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件**
- ・表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）。
 - ・A4 判（天地 297mm × 左右 210mm）4 色フルカラー。
 - ・デザイン画はアート紙またはコート紙に描画してください。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現学会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は学会誌編集係までお問い合わせください。

- 注意事項**
- ・応募作品は返却しません。
 - ・採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります。（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う。）
 - ・応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成 9 年 9 月 30 日（必着）

結果通知 平成 9 年 10 月中旬

賞金 採用者 1 名に 20 万円

送付先／照会先 （社）情報処理学会 学会誌編集係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F
e-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

人材募集



●北海道大学情報処理教育センター

- 募集人員 助手1名
 専門分野 情報処理教育センターは、現在、660台のWindowsパソコンと88台のUNIXワークステーションを全学の教育に提供しています。これらのシステムを利用した教育の支援に積極的である方を希望します。また、現在、岡部成玄助教授、山本裕一助手、平林義治助手が在職し、量子物理系の研究を行っております。現センターの教官と積極的に研究協力できる方を希望しますが、専門分野は特に問いません。
- 応募資格 博士の学位を有する（取得見込みを含む）方
 着任時期 決定次第できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文（3点以内）別刷（コピー可）、今後の教育・研究に対する抱負（書式自由）と着任可能時期、健康診断書、推薦書
- 応募締切 平成9年9月30日（必着）
 送付先／照会先 〒060 北海道札幌市北区北11条西5丁目 北海道大学情報処理教育センター長 塩崎洋一
 「助手応募書類在中」と朱書 e-mail:shiozaki@hipecs.hokudai.ac.jp Tel(011)706-3555
 *先月号分は専門分野の項目が抜けておりましたので、ご注意ください。

●法政大学第一教養部

- 募集人員 教授、助教授または専任講師1名
 担当科目 情報処理演習およびコンピュータサイエンス関連科目
- 応募資格 (1)博士課程を修了、(2)修士課程を修了し2年以上助手として勤務、(3)修士課程を修了し4年以上研究に従事、のいずれかをみたすか、(1)～(3)と同等の資格を有すると認められる方で、原則として40歳前後が望ましい
- 着任時期 平成10年4月1日
 提出書類 履歴書、業績表、主要業績の3点以内の現物（コピー可）およびその要旨、これまでの研究内容および着任後の教育に対する抱負（2000字程度）。本人の業績について問合せ可能な方の氏名・所属・職名・連絡先を履歴書に付記すること
- 応募締切 平成9年10月9日（16：00必着）
 送付先 〒102 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学第一教養部資料室気付 第一教養部長 中村 純
 「情報処理演習教員応募書類在中」と朱書し書留
 照会先 e-mail:csinfo@fujimi.hosei.ac.jp

●静岡理科大学理工学部知能情報学科「認知科学」

募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 認知科学
 教育分野 心理学, 認知科学 (コンピュータの入門講義も担当できる方が望ましい)
 応募資格 関連する博士号取得 (取得見込みを含む), 博士課程単位取得退学, またはそれらと同等以上の学識を有する方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日までを希望
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文 3 編以内の別刷 (コピー可), 推薦者 2 名の住所・氏名, 着任後の教育に対する抱負 (A4 判 2 ページ程度)
 応募締切 平成 9 年 10 月 20 日
 送付先 〒 437 静岡県袋井市豊沢 2200-2 静岡理科大学 事務局総務課
 「知能情報「認知科学」教員応募書類在中」と朱書き書留
 Tel(0538)45-0111 (代表) Fax(0538)45-0110
 照会先 「認知科学」教員選考委員長 菅沼義昇 Tel(0538)45-0203 Fax(0538)45-0110
 その他 待遇は本学規程による

●静岡理科大学理工学部知能情報学科「情報工学」

募集人員 講師または助教授 1 名
 専門分野 情報工学または情報科学
 教育分野 コンピュータネットワーク, ネットワーク管理, 計算理論, C 言語などの講義を担当できる方
 応募資格 関連する博士号取得 (取得見込みを含む), 博士課程単位取得退学, またはそれらと同等以上の学識を有する方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日までを希望
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文 3 編以内の別刷 (コピー可), 推薦者 2 名の住所・氏名, 着任後の教育に対する抱負 (A4 判 2 ページ程度)
 応募締切 平成 9 年 10 月 20 日
 送付先 〒 437 静岡県袋井市豊沢 2200-2 静岡理科大学 事務局総務課
 「知能情報「情報工学」教員応募書類在中」と朱書き書留
 Tel(0538)45-0111 (代表) Fax(0538)45-0110
 照会先 「情報工学」教員選考委員長 菅沼義昇 Tel(0538)45-0203 Fax(0538)45-0110
 その他 待遇は本学規程による

●群馬大学大学院工学研究科生産工学専攻

募集人員 助教授 1 名
 所属 生産基盤工学講座
 専門分野 機械システム工学に関連する情報処理, ネットワークシステム, 人工生命, ヒューマンインタフェース, オプトメカトロニクス, 画像処理・認識など
 応募資格 (1)博士の学位をもち, (2)専門分野で十分な研究業績を有する方, (3)機械システム工学の教育に熱意をもち, 大学院のみならず学部に対しても講義・研究指導をする意欲のある方, (4)着任時におよそ 40 歳までの方
 着任時期 平成 10 年 4 月 1 日 (予定)
 提出書類 自筆履歴書 (所属学会および社会における活動状況記載), 研究業績リスト (著書, 原著研究論文, 国際会議講演論文), 現在までの仕事の内容, 研究業績リスト論文の別刷 (コピー可), 教育・研究に関する抱負 (1000 字程度) * 応募書類は原則として返却いたしません
 応募締切 平成 9 年 10 月 31 日
 送付先/照会先 〒 376 群馬県桐生市天神町 1-5-1
 群馬大学工学部機械システム工学科 学科長 新井雅隆 Tel(0277)30-1522 (直通)
 または生産基盤工学講座 教授 伊藤 勲 Tel(0277)30-1543 (直通)
 Fax(0277)30-1599 (共用) 「教官応募書類在中」と朱書き書留

●静岡大学情報学部情報科学科

募集人員 助手1名
 所属 計算機システム講座
 専門分野 (A)符号理論, 数値解析, 離散数学, 応用数学, 計算理論, プログラム理論など, (B)データベース, アーキテクチャ, オペレーティングシステムなど. 上記(A)もしくは(B)の分野を専門とする方を求めます
 応募資格 博士の学位を有する(取得見込みを含む), または同等以上の業績を有する方, 演習, 実験を担当可能な方, 年齢は32歳以下が望ましい
 着任時期 平成10年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷(コピー可), 研究と教育についての抱負(1000字程度), 応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名, 連絡先, 電話番号
 応募締切 平成9年10月31日
 送付先/照会先 〒432 静岡県浜松市城北3-5-1 静岡大学情報学部情報科学科 教授 林部敬吉
 e-mail:hayasibe@cs.inf.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1480

●東京工業大学大学院

募集人員 助手1名
 専門分野 人工知能・知識情報処理関係
 応募資格 博士号を取得(取得見込みを含む)の方で年齢は30歳程度まで
 着任時期 平成10年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書, 業績書, ジャーナルに掲載された研究論文
 応募締切 平成9年10月31日
 照会先 〒226 神奈川県横浜市緑区長津田4259 東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻
 新田克己 e-mail:nitta@dis.titech.ac.jp Tel(045)924-5214

●豊橋技術科学大学知識情報工学系情報科学講座

募集人員 教授1名
 専門分野 社会現象や経済現象を対象としてコンピュータを活用し工学的にアプローチする分野
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院博士課程を担当できる方
 着任時期 平成10年4月またはそれ以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文5編の別刷
 応募締切 平成9年10月31日
 送付先/照会先 〒441 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学 知識情報工学系長 山本真司
 e-mail:yamamoto@white.tutkie.tut.ac.jp Tel(0532)53-6886 Fax(0532)47-8986
 「知識情報工学応募書類」と朱書き書留

●立命館大学理工学部情報学科

- 募集人員 (1)教授または助教授1名, (2)教授または助教授1名
専門分野 (1)セキュリティ基礎技術およびその応用に関する分野(暗号技術, 認証技術, ネットワークセキュリティ, サイバースペース(電子商取引分野)など)
(2)情報システム学に関する分野(情報システム構成論, 社会情報システム, ネットワークコンピューティングなど)
応募資格 (1)(2)ともに博士の学位を有し, 上記専門分野の研究業績があること, 専門分野関連科目のほか, 情報処理演習, 情報学実験などが担当できること
着任時期 平成10年4月1日
提出書類 履歴書(教育歴(担当科目など)が分かるように書くこと), 研究業績リスト(論文, 著書), 主要論文別刷, 現在までの研究内容の解説と今後の研究計画の概要および教育に対する抱負(2000字程度)
*健康診断書は不要ですが, 採用決定までに本学保健センターの健康診断を受けていただく必要があります
応募締切 平成9年10月31日(必着)
送付先 〒525-77 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学理工学部情報系 学系長 山田喬彦 書留にて送付
照会先 理工学部情報学科 教授 小川 均 e-mail:ogawa@cs.ritsumei.ac.jp Tel(0775)61-2697(直通)

●愛媛大学工学部情報工学科

- 募集人員 (1)(2)の各専門分野にそれぞれ教授1名, 助教授(または講師)1名
専門分野 (1)分散処理システム:分散処理, 並列システム, 知的分散処理などの講義を担当していただく予定
(2)知的コミュニケーション:情報ネットワーク, 情報通信機器, 情報通信方式などの講義を担当していただく予定
応募資格 教授は大学院博士後期課程の研究指導が, 助教授(または講師)は大学院博士後期課程の研究指導の補助が可能であること
着任時期 可能なかぎり早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文, 国際会議論文に分類), これまでの研究概要(1000字以内), これからの研究計画(1000字以内), 本人に関する所見を求め得る2名の方の連絡先
*上記専門分野(1), (2)の別および教授, 助教授(または講師)の別を明記すること
応募締切 平成9年11月28日
送付先/照会先 〒790 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学工学部情報工学科 天野 要
e-mail:amano@cs.chime-u.ac.jp Tel(089)927-9966 Fax(089)927-9973

●豊田工業大学工学部制御情報工学科

- 募集人員 情報通信部門, 教授1名
専門分野 情報通信を専門とし, 情報工学, 人工知能, 情報数理などの基礎についても精通していること
応募資格 研究開発において優れた業績をもち, 大学院博士課程において研究指導できる方
着任時期 できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績一覧, 研究計画書(今後推進したい研究の概要)
応募締切 平成9年11月28日
送付先 〒468 愛知県名古屋市中天白区久方2-12-1 学校法人トヨタ学園豊田工業大学 事務局 稲垣洋一
Tel(052)802-1111(代表) Fax(052)809-1721
照会先 教授 梅谷陽二 e-mail:umetani@toyota-ti.ac.jp

●横浜国立大学工学部生産工学科

募集人員 講師または助教授 1 名
 所 属 機械システム工学大講座
 専門分野 画像処理, 画像解析, ロボットビジョン, VR など視覚情報システム学関連分野
 教育分野 画像処理・CG 関連分野の教育と研究指導を担当できる方
 応募資格 博士の学位を有し(取得見込みを含む)35歳以下の方(若い方が望ましい),日本語で授業を担当できれば
 外国籍の方も可能(任期付きの採用となりますが年齢は問いません。再任の可能性もあり)
 着任時期 平成10年4月1日を希望
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(コピー可), 推薦書, 研究計画書(2000字程度)
 応募締切 平成9年11月28日(必着)
 送付先/照会先 〒240 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学大学院工学研究科工学部人事委員会
 委員 後藤敏行 「教官応募書類」と朱書き書留 e-mail:koubo10@sci.ynu.ac.jp
 *問合せはe-mailでお願いします

●茨城大学工学部システム工学科

募集人員 助手1名(夜間主コースの担当もあり)
 専門分野 画像処理, 撮像デバイスおよびその回路および装置, 半導体プロセスおよびデバイスのシミュレーション,
 とくに回路技術に堪能な方を希望する
 応募資格 博士の学位を有し(取得見込みを含む)研究業績のある方で,年齢30歳くらいまでの方
 着任時期 平成10年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧, 主要論文別刷(コピー可), 研究概要:得意とする分野, および強く興味をもつ
 分野について記載する(A4判2ページ程度)
 応募締切 平成9年11月30日
 送付先/照会先 〒316 茨城県日立市中成沢町4-12-1 茨城大学工学部 システム工学科長 奈良宏一
 Tel/Fax(0294)38-5182

●福井大学工学部電子工学科

募集人員 助手1名
 所 属 システム工学講座
 専門分野 コンカレント工学, ソフトコンピューティング工学, 回路・システム理論, 制御理論, そのほか工学系の総
 合的設計に関する新しいパラダイムを目指している分野
 応募資格 博士の学位を有する(取得見込みを含む)方
 着任時期 遅くとも平成10年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 論文別刷, 研究・教育の抱負(1000字程度), 推薦書, 健康診断書
 応募締切 平成9年11月30日
 送付先/照会先 〒910 福井県福井市文京3-9-1 福井大学工学部電子工学科 学科長 中川英之
 Tel(0776)27-8559 Fax(0776)27-8749

サイエンス・ボランティア募集について

文部省では平成7年度からサイエンス・ボランティア制度を設けることとし、「サイエンス／ボランティア登録名簿の作成および提供」業務を社団法人日本工学会に委託してまいりました。現在約700名の方がサイエンス・ボランティアとして登録しておられます。

そこで下記要領でサイエンス・ボランティアを公募いたします。

この制度は人材派遣ではなく、サイエンス・ボランティアを必要とする機関に情報を提供する事業です。

記

応募期日 いつでも受け付けます。

応募資格 ボランティアとして青少年・社会人に科学技術の面白さを教えたり、一緒に楽しめる方

応募申込 ハガキに氏名・年令・性別・連絡先住所・同電話番号を明記し、日本工学会へ登録用紙を請求してください。

資格審査 「サイエンス・ボランティア企画委員会」において資格審査を行い結果をお知らせします。

登録用紙請求先および照会先

〒107 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
(社) 日本工学会「サイエンス・ボランティア」係
Tel(03)3475-4621 Fax(03)3403-1738

9 月中旬発行『コンパクト版 情報処理ハンドブック』 情報処理学会編・オーム社発行

A5 判・ソフトカバー・2058 頁 本体価格 15,000 円 (税別)

●発刊の目的

1995 年 (平成 7 年) 11 月に発行された「新版情報処理ハンドブック」(編集委員長: 萩原 宏) は、情報工学の最新の学術、技術の成果を取り入れ、解りやすくかつユーザの立場に立って編纂された信頼性の高いハンドブックとして広く活用され今日に至っています。

本書は、同ハンドブックが発行後 2 年近くを経過する中で、座右に置いて手軽に使いたいとのご要望が多く、今回ハンディな縮刷版 (A5 判) を、お求めやすい価格で発行するものです。なお従来の机上版 (B5 判・上製・本体価格 43,700 円 (税別)) も引き続き発売しています。

情報処理関連企業・メーカの技術者の方のもとより、情報系の学部学生、官公庁など公的機関の情報処理部門の担当者の方に是非ともお薦めの 1 冊です。

購入ご希望の方は問合せ先へお申込みください。

●主要目次

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 編 アルゴリズムとデータ構造 | 10 編 ヒューマンインタフェース |
| 2 編 ハードウェア | 11 編 パターン処理 |
| 3 編 計算機アーキテクチャ | 12 編 人間の協調と感性処理 |
| 4 編 オペレーティングシステム | 13 編 人工知能 |
| 5 編 プログラミング | 14 編 自然言語処理 |
| 6 編 ソフトウェア工学 | 15 編 情報システム |
| 7 編 情報の基礎的解析・分析 | 16 編 情報処理教育 |
| 8 編 データベース | 17 編 規格と資料 |
| 9 編 コンピュータネットワーク | 事項 (和英) 索引 |

●照会先 (株) オーム社 販売部販売課 〒101 東京都千代田区神田錦町 3-1
Tel(03)3233-0641 Fax(03)3293-6224